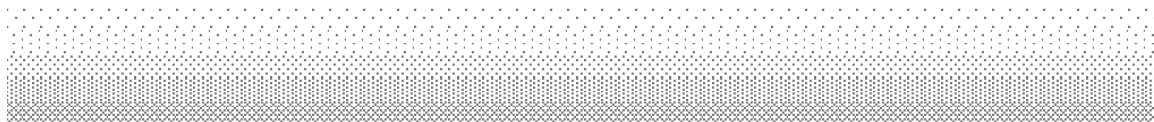


FCL Components SERVIS KVM Solution

フルHD1Uドロワー

(KVMスイッチDVIモデル内蔵)

FD-6008DVI/J FD-6008DVI/JW



オペレーティングマニュアル

05版

この装置は、クラス A 情報技術装置です。

この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、(1)原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに(2)海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からの如何なる請求または損害賠償に対しても、FCL コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。




その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です。

Copyright 2024 FCL COMPONENTS LIMITED




## 安全に関するご注意

ご使用になる前に、この「安全に関するご注意」のページをよくお読みの上、正しくご使用下さい。ここには、お使いになる人や他の人への身体および財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載して。










### 警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

### 危険や危害の内容を表すシンボルマーク

記号	危害・損害レベル	内容説明
	禁止	してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	厳守	必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	注意・警告	警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

### 使用中の取り扱いについて

 警告	
 感電・火災	開口部から本製品内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 水ぬれ	本製品に水をかけたり、濡らしたりしないでください。感電・火災の原因となります。
 水場での使用	風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
 悪環境での使用	本製品の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小さな金属物を置かないでください。装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
 電源プラグ抜去	万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。
 電源プラグ抜去	万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
 電源プラグ抜去	万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売窓口までご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
 航空機内での使用	航空機内では本製品を使用しないでください。航空機の計器誤動作の原因となります。

## 使用中の取り扱いについて

### ⚠ 注意

火災



使用中の本体や AC アダプターなどは、布などでおおったり、包んだりしないでください。熱がこもり、火災の原因になることがあります。

火災



本製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

衝撃、振動



本製品に過度の衝撃や振動を与えないでください。感電・火災または、故障の原因になることがあります。

国内仕様



本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し日本国外への技術サポート、およびアフターサービス等を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

## 設置・据付について

### ⚠ 警告

感電



アクセサリの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず装置本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電の原因となります。

感電、火災



本製品を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

### ⚠ 注意

悪環境への設置



水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。感電・火災・故障などの原因になることがあります。

不安定な場所



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。

振動、衝撃



振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となる場合があります。

専用箱での運搬



本製品を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形および破損等がある箱は、使用しないでください。本製品が故障する原因となる場合があります。

結露



本製品を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。すぐに使用すると、本製品が故障する原因となる場合があります。

ケーブル接続



本製品にケーブルを接続する場合は、接続部にストレスがかからないようにしてください。また接続部に振動をあたえないでください。本製品及び、接続先の製品が故障する原因となります。

## AC アダプター・電源・電源コードについて

### ⚠ 警告

ぬれ手



ぬれた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

火災



電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間使用して湿気をおおくと、接続部が熱をもって発火にいたる「トラッキング」を起こし、火災の原因となります。

火災



電源コードを巻いたり、束ねたりしないでください。その状態で使用すると電源コードが熱をもって発火し、火災の原因となります。

感電・火災



電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源コードを傷めないでください。感電・火災の原因となります。

感電・火災



電源コードのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

アース接続



電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続



湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。  
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

感電・火災



指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。感電・火災の原因となります。

感電・火災



添付の電源コード以外は使用しないでください。感電・火災の原因となります。

## AC アダプター・電源・電源コードについて

### ⚠ 警告

火災



電源プラグを電流容量 15A 以上の専用コンセントに直接接続してください。延長コードは過熱・発火の危険があるので使わないでください。

火災



指定の電源電圧以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となります。

分解・改造



本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

### ⚠ 注意

感電・火災



電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源コードのプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

火災



電源コードのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。プラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。

火災



長時間装置を使用しないときには、安全のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。火災・故障の原因となることがあります。

感電・火災



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

## 保守について

### 警告

お客様自身の修理



本製品の修理はお客様自身で行わないでください。火災・感電の原因となります。弊社にご連絡のうえ、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。

分解・改造



本製品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本製品の中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

### 注意

装置内の取り扱い



静電気に対し誤動作や故障を起こす場合があります。保守担当者以外は内部に触れないでください。

廃棄



本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

# 目 次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 表記規則</b> .....	<b>1</b>
<b>3. 梱包品の確認</b> .....	<b>1</b>
<b>4. 重要なお知らせ</b> .....	<b>2</b>
4.1 安全性 .....	2
4.2 廃棄について .....	4
4.3 本装置の運搬 .....	4
<b>5. 各部の名称と機能</b> .....	<b>5</b>
5.1 外観 .....	5
5.2 モニタ操作スイッチ部 .....	5
5.3 サーバ選択スイッチ部 .....	6
5.4 KVM スイッチ部 .....	7
<b>6. ラックの取り付け方法</b> .....	<b>8</b>
6.1 ガイドレール取り付け（FP-G001 の場合） .....	8
6.2 本装置の取り付け手順 .....	9
<b>7. ケーブルの接続と取り外し</b> .....	<b>10</b>
7.1 ケーブルの接続 .....	10
7.1.1 カスケード接続しない場合（1 段接続） .....	10
7.1.2 カスケード接続する場合（2 段接続） .....	12
7.1.3 カスケード接続する場合（2 段接続） .....	14
7.2 外付けマウス取り付け方法 .....	16
7.3 外付けマウスの制限寸法 .....	18
7.4 電源ケーブル抜け防止について .....	19
7.5 ケーブルの取り外し .....	19
<b>8. 操作</b> .....	<b>20</b>
8.1 本装置の引き出し .....	20
8.2 本装置の開閉と格納 .....	21
<b>9. 画面の設定</b> .....	<b>23</b>
9.1 メインメニューの表示と設定項目の選択 .....	24
9.2 明るさの設定方法 .....	25
9.3 コントラストの設定方法 .....	25
9.4 カラーの設定方法 .....	26
9.5 黒レベル設定方法 .....	27
9.6 言語の設定方法 .....	27
9.7 情報表示 .....	28
9.8 リセット .....	29
<b>10. KVM スイッチ部 ホットキーモードの操作方法</b> .....	<b>30</b>

10.1	カスタマーモード設定 (CUSTOMER MODE)	30
10.1.1	CUSTOMER MODE 1/3 ホットキーモード操作設定	30
10.1.2	CUSTOMER MODE 2/3 ポート選択設定及びキーボードの言語設定	32
10.1.3	CUSTOMER MODE 3/3 入力画像信号の選択及びプラグアンドプレイモニター名表示	35
10.2	ビデオ設定 (VIDEO SETTING MODE)	36
10.3	OSD でのサーバ切り替え機能 (SERVER SELECTION)	39
10.3.1	SERVER SELECTION	39
10.3.2	サーバ名変更モード	41
10.3.3	オートスキャンモード	42
<b>11.</b>	<b>タッチパッド機能 ON – OFF 設定</b>	<b>43</b>
<b>12.</b>	<b>本装置のお手入れ</b>	<b>44</b>
<b>13.</b>	<b>技術仕様</b>	<b>45</b>
13.1	対応解像度	47
<b>14.</b>	<b>トラブル対策</b>	<b>49</b>
14.1	画面が表示されない	49
14.2	画面調節ができない	49
14.3	画面がおかしい	50
14.4	外付けマウス、タッチパッド、キーボードが動かない	50

## 1. はじめに

このたびは、フル HD1U ドロワー[FD-6008DVI/J]または[FD-6008DVI/JW]（以降、本製品または本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をお使いになると、ラック作業空間の効率とサーバ切替機能が大幅に改善されます。また、コンパクト設計のスライドモジュールの採用で、従来のソリューションに比べてより広くなるスペースを別のコンポーネントに利用できます。さらに、外付マウス（以後、マウス）が接続できるので、操作性が格段に向上します。17.3 型 TFT モニタの解像度は、1920×1080 で、最大表示色 1,677 万色の表示が可能です。

## 2. 表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。

( )、[ ]、[ ]	参照する章のタイトルや用語の強調をしています。
フル HD1U ドロワー または本装置、本製品	フル HD1U ドロワー[FD-6008DVI/J]または[FD-6008DVI/JW] の記述の説明時に使用しています。
<>	キーボード上のキーを示します。 例: <Esc> は Esc キーを <Enter> は Enter キーを示します。
( )、) で囲まれた数字	順序に従って行う必要がある操作を示しています。

## 3. 梱包品の確認

梱包物が揃っていることを確認し、(✓点) を付けてください。

<input type="checkbox"/> 本装置本体	×1
<input type="checkbox"/> 安全に関するご注意	×1
<input type="checkbox"/> オペレーティングマニュアル（本書）	×1
<input type="checkbox"/> 保証書	×1
<input type="checkbox"/> AC100V 用電源ケーブル	×1
<input type="checkbox"/> 電源ケーブル抜け防止バンド	×1

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要なことがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、お買い求めの販売店または弊社担当までお申し付けください。



### 注意！

- 梱包箱から本体を取り出す際、LCD 部開閉用ハンドルを持たないでください。 LCD 部だけが開き本体を落とす恐れがあります。

## 4. 重要なお知らせ



**注意！**

- この章には、本装置で作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

### 4.1 安全性



**注意！**

#### 安全上の注意

本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、お買い求めの販売店または弊社担当に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。ただし、変形及び破損等がある箱は、使用しないでください、本装置が破損する可能性があります。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「ケーブルの接続」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から暖かい場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、周囲温度とほぼ同じ温度になってからご使用してください。
- 地域の線路電圧が本装置の使用動作範囲内であることを確認してください。（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。改造等は行わずにご使用ください。感電、短絡の原因になります。
- 本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き差しがすぐできるようにしてください。
- ケーブルが損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「ケーブルの接続と取り外し」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに装置からすべてのケーブルをはずして、お買い求めの販売店または担当保守員に連絡してください。
- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。
- ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
- 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
- 濡れた手での使用は避けてください。
- 濡れた手でコネクタの抜き差しをしないでください。
- 本装置の上には、液体等入ったコップなど不要な物をおかないでください。
- 改造または修理をしないでください。

- 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の分解、取りはずし、交換は、資格のある人以外はできません。
- 「モニタの調節」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。それ以外の設定を行うと、モニタが損傷することがあります。ご不明な点は、お買い求めの販売店または弊社担当にご連絡ください。
- 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
- 線路電圧を切断するときには、設置電源コンセントから電源プラグを抜きます。
- サーバを清掃するときは、「本装置のお手入れ」にしたがってください。
- 本説明書は本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。本装置を引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する可能性があるので危険ですので、おやめください。本装置を引き出した状態では、本機の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。本装置を使用しない場合や本装置以外のサーバや周辺機器など操作する場合には、本装置をラック内に格納することを推奨します。
- 本製品には有寿命部品（LCD など）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
- 本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用年数）は 5 年が目安です。  
※1 日 8 時間で月当たり 200 時間動作、使用環境が 25℃を想定した場合の目安です。  
ただし、有寿命部品を除きます。



## 注意！

## ご使用上のご注意

ご使用の前に【ご使用上のご注意】をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに記載の注意事項はユーザー様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- 各コネクタの抜き差しはサーバの電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源が ON のまま抜き差しすると、サーバまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は保証対象外ですので、ご了承ください。
- 各ポートのケーブルは、同じサーバ内で接続してください。モニタとキーボード、マウスのポート番号が違っていると正しく選択できません。
- 高解像度や接続環境でのゴーストやニジミ等の画質劣化は、モニタケーブルやビデオカードが影響している場合があります。また、ディスプレイとビデオカードの組合せによっては、正常に表示出来ない場合もあります。ビデオカード等の接続環境を変更してみてください。
- カスケード接続は当社製 KVM Switch だけで行なってください。他社製の切替器とは接続できません。
- カスケード接続数はマスターも含め最大 2 段接続です。3 段以上の接続はできません。

## 4.2 廃棄について

本装置は、金属、プラスチック部品を使用しています。廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

## 4.3 本装置の運搬

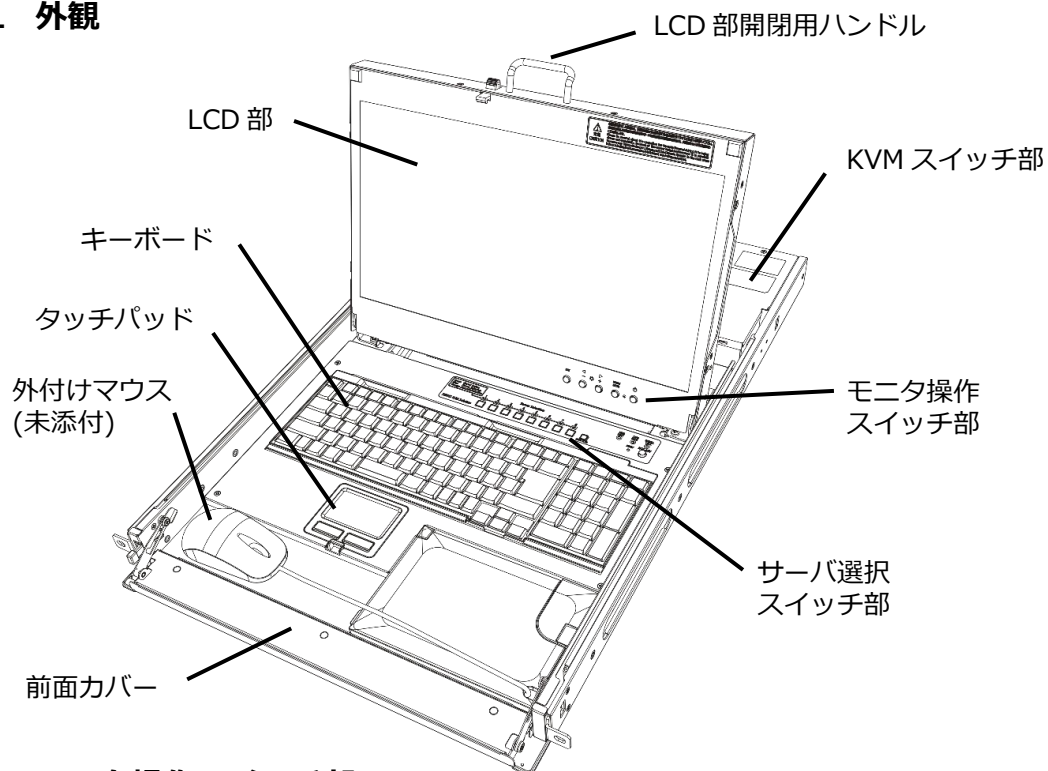


### 注意！

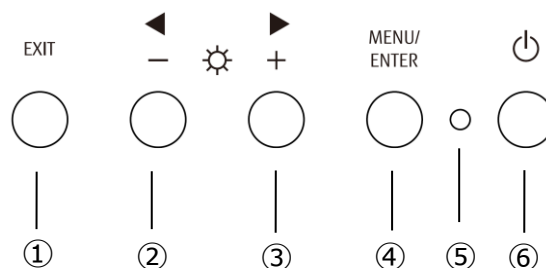
- 本装置を別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。
- 運搬処理がすべて完了するまで、開梱しないでください。

## 5. 各部の名称と機能

### 5.1 外観

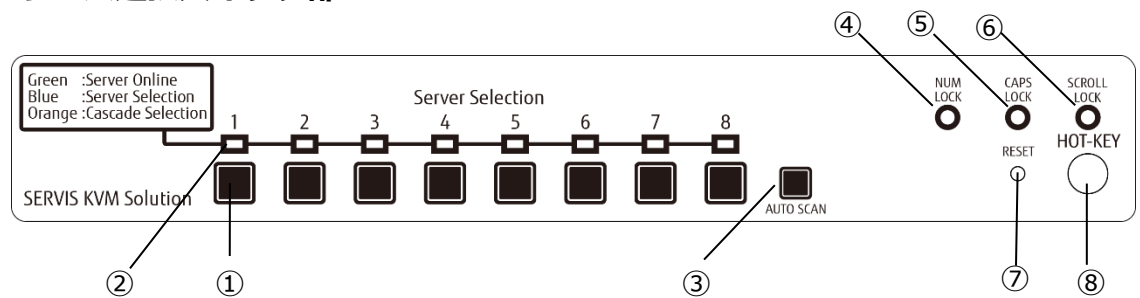


### 5.2 モニタ操作スイッチ部



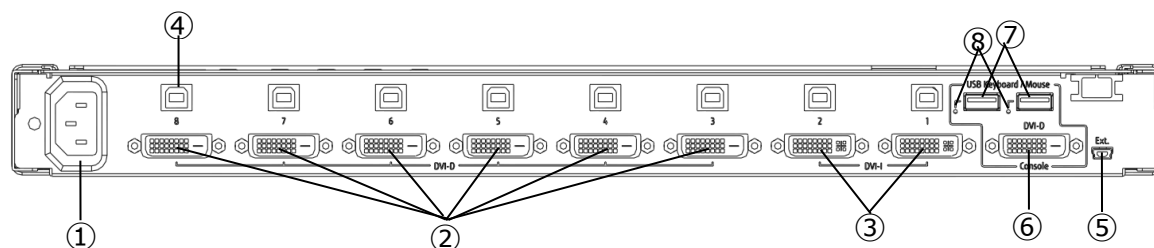
No.	名称	内容
①	EXIT スイッチ	メニュー画面での設定を保存せずに終了します。
②	- スイッチ	OSD 非表示のときに押すと LCD の輝度が下がります。 OSD 表示のときに押すと調整値が減少します。
③	+ スイッチ	OSD 非表示のときに押すと LCD の輝度が上がります。 OSD 表示のときに押すと調整値が増加します。
④	MENU/ENTER スイッチ	OSD が表示されます。/OSD 表示のときに押すと項目を選択します。
⑤	LCD 電源 LED	青点灯 LCD 電源 ON 状態を示します。
		橙点灯 スタンバイ (パワーセーブ) 状態を示します。
		消灯 LCD 電源 OFF 状態を示します。
⑥	LCD 電源スイッチ	LCD の電源をオン/オフします。

### 5.3 サーバ選択スイッチ部



No.	名 称	内 容	
①	<b>Server Selection スイッチ</b>	サーバ（1～8）を選択するときに押します。サーバの電源 ON/OFF の状態に関わらず選択ができます。	
②	<b>Server Selection LED</b>	サーバ（1～8）の電源、選択状態などを示します。	
		緑点灯	サーバ電源の ON 状態を示します。
		青点灯	サーバが選択されている状態を示します。
		橙点灯	カスケード接続状態を示します。
③	<b>AUTO SCAN スイッチ</b>	スイッチを押すと電源が ON になっているサーバの画面に自動的に切り替わります。	
④	<b>NUM LOCK LED</b>	点灯	NUM LOCK のオン状態を示します。
		消灯	NUM LOCK のオフ状態を示します。
⑤	<b>CAPS LOCK LED</b>	点灯	CAPS LOCK のオン状態を示します。
		消灯	CAPS LOCK のオフ状態を示します。
⑥	<b>SCROLL LOCK LED</b>	点灯	SCROLL LOCK のオン状態を示します。
		消灯	SCROLL LOCK のオフ状態を示します。
		点滅	ホットキーモード（KVM 接続時）状態を示します。
⑦	<b>RESET スイッチ</b>	先の細いピン等で押すことにより装置内部のメイン CPU のハードウェアリセットを行います。装置の動作異常が発生した場合等に用います。	
		短押し（5s 未満）	選択ポート及び Console の USB ディスコネクト処理を行います。
		長押し（5s 以上）	全ポート及び Console の USB ディスコネクト処理を行います。
⑧	<b>HOT-KEY スイッチ</b>	スイッチを押すとホットキーモードに入ります。	

## 5.4 KVM スイッチ部



No.	名 称	内 容
①	インレット	電源ケーブル（AC100V）を接続します。専用の電源ケーブル以外は使用できません。
②	サーバ モニタ接続用コネクタ	サーバのモニターポート（DVI）を専用ケーブルで接続します。
③	サーバ モニタ接続用コネクタ	サーバのモニターポート（DVI 又はアナログ）を専用ケーブルで接続します。
④	サーバ USB 接続用コネクタ	サーバの USB ポートを専用ケーブルで接続します。
⑤	ミニ USB コネクタ	専用アプリケーションを使用し KVM スイッチ部のファームウェアをバージョンアップするときに使います。 通常の用途では使用しません。
⑥	モニタコネクタ	本装置の背面より出ている DVI ケーブルを接続します。 外部モニタは接続できません。
⑦	USB コネクタ	外部 USB デバイス（キーボード、マウス等）は接続できません。 本装置の背面より出ている USB ケーブルをどちらか一方に接続します。他方のコネクタには何も接続しないでください。
⑧	USB ポート LED	USB ポートの状態を表示します。
		緑点灯      使用可能又は使用中を示します。
		緑点滅      USB デバイス認識中を示します。
		消灯          USB デバイスエラー、過電流状態を示します。

### Point

- ⑥モニタコネクタと⑦USB コネクタと⑧USB ポート LED を併せて Console ポートと呼びます。

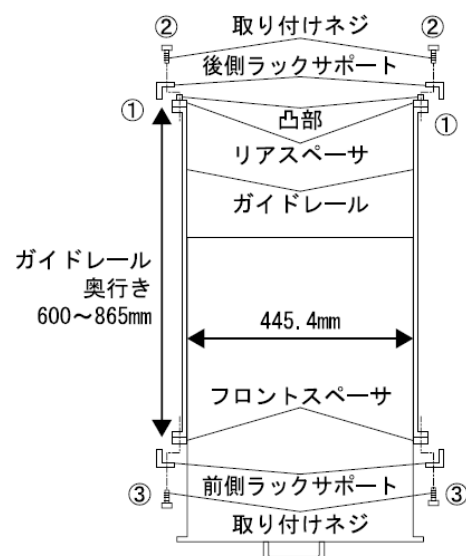
## 6. ラックの取り付け方法

### 6.1 ガイドレール取り付け（FP-G001 の場合）

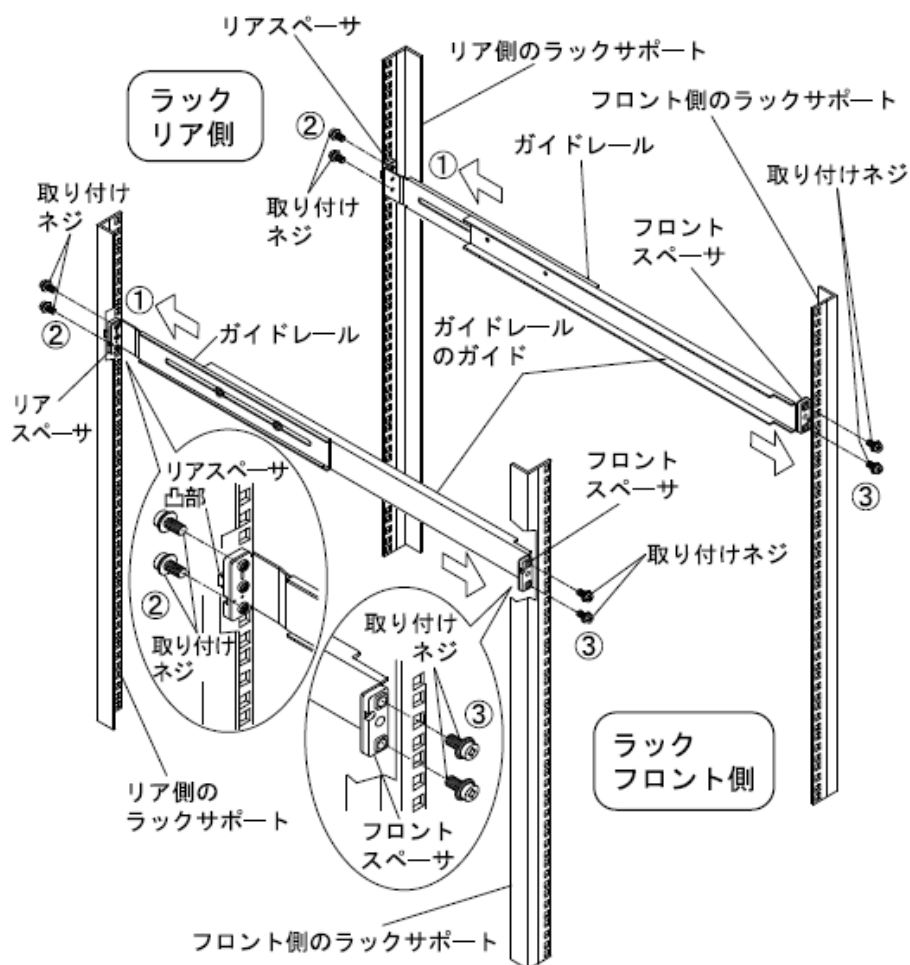
- (1) ガイドレールは、ガイドレールのガイドを前方、内側を向くように取り付けます。  
（フロントスペーサがラックフロント側、リアスペーサがラックリア側になります。）  
ガイドレールのリアスペーサ凸部をリア側のラックサポート穴に入れます。（図中①）

- (2) ラックサポートの外側からリアスペーサ上下の穴を取り付けネジで固定します。（図中②）  
（左右ガイドレールの取り付け位置は同じ高さにしてください。）

- (3) フロント側のラックサポート内側にガイドレールを合わせて、上下の穴を取り付けネジで固定します。（図中③）



（ガイドレール取り付け上面図）



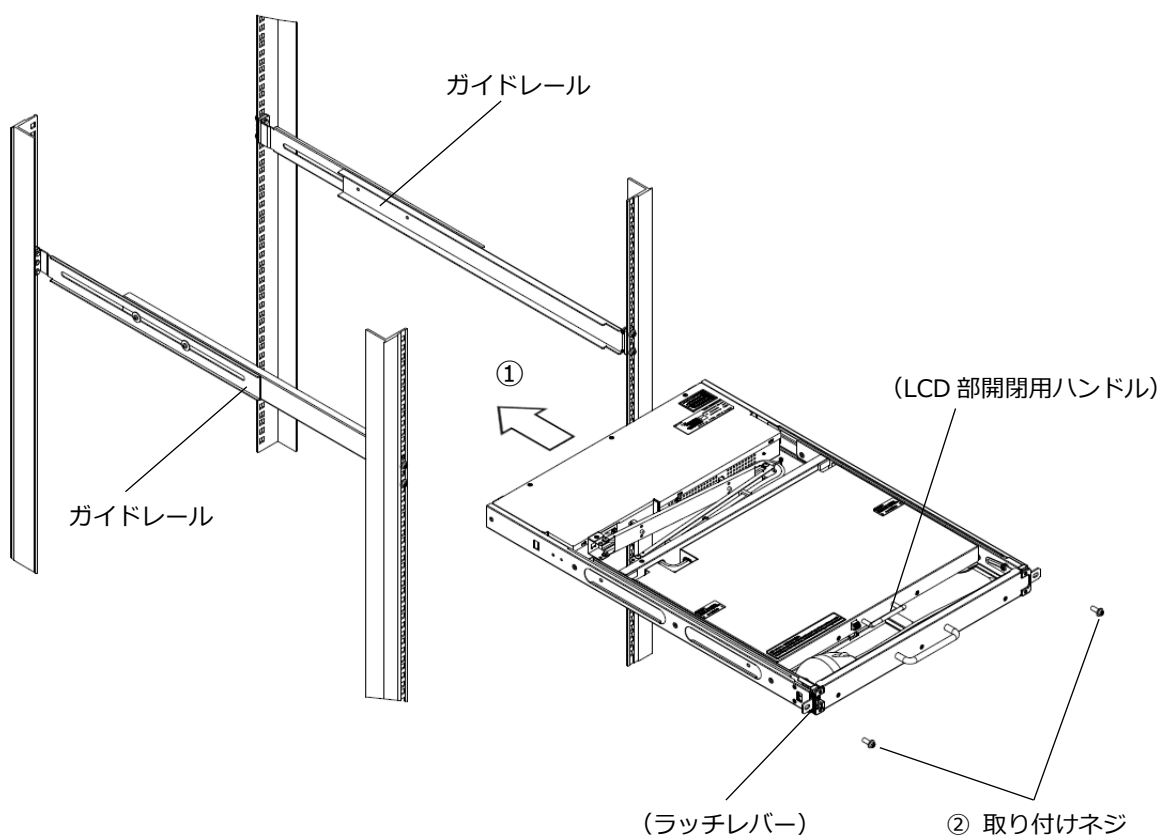
（ガイドレールの取り付け図）

## 6.2 本装置の取り付け手順

- (1) ガイドレール前方から本装置を入れます。(図中①)
- (2) 本装置を止まるまで押し込み、前面 2 箇所を取り付けネジで固定します。(図中②)
- (3) 電源ケーブルを本装置に接続する際、抜け防止のため添付の抜け防止バンドを使用し固定してください。(取り付け方法は「7.4 電源ケーブル抜け防止について」を参照ください。)

### ⚠ 注意！

- ラッチレバーが解除されていると本装置がスライドする恐れがあるため注意してください。
- ガイドレールに本装置が入らないときや重い場合は、2 人以上で持って入れてください。
- 本装置を持ち上げるときは LCD 部開閉用ハンドル を持たないでください。LCD 部だけが開き本体を落とす恐れがあるので注意してください。



(ラックへの取り付け図)

## 7. ケーブルの接続と取り外し

### 7.1 ケーブルの接続

#### 7.1.1 カスケード接続しない場合（1 段接続）

最大 8 台までサーバの接続が可能です。

- (1) Console ポートに本装置の背面より出ている DVI ケーブル、USB ケーブルを接続します。（図中①）  
USB ケーブルは 2 つある USB コネクタのうちどちらでも接続可能です。
- (2) キーボード操作部近傍の USB コネクタに外付けマウスを接続します。  
（外付けマウス取り付け方法の詳細は「7.2 外付けマウス取り付け方法」を参照ください。）
- (3) サーバの電源ケーブルを電源コンセントに接続します。（図中②）  
ただし、サーバ電源は OFF のままにしてください。
- (4) 1 台目のサーバの USB コネクタ及びモニタコネクタに別手配のサーバ/PC 接続専用ケーブルを接続します。（図中③）
- (5) 専用ケーブルの反対側のコネクタを本装置のサーバ接続用ポートに接続します。（図中④）
- (6) 2～8 台目も(3)～(5)と同じ手順で接続します。

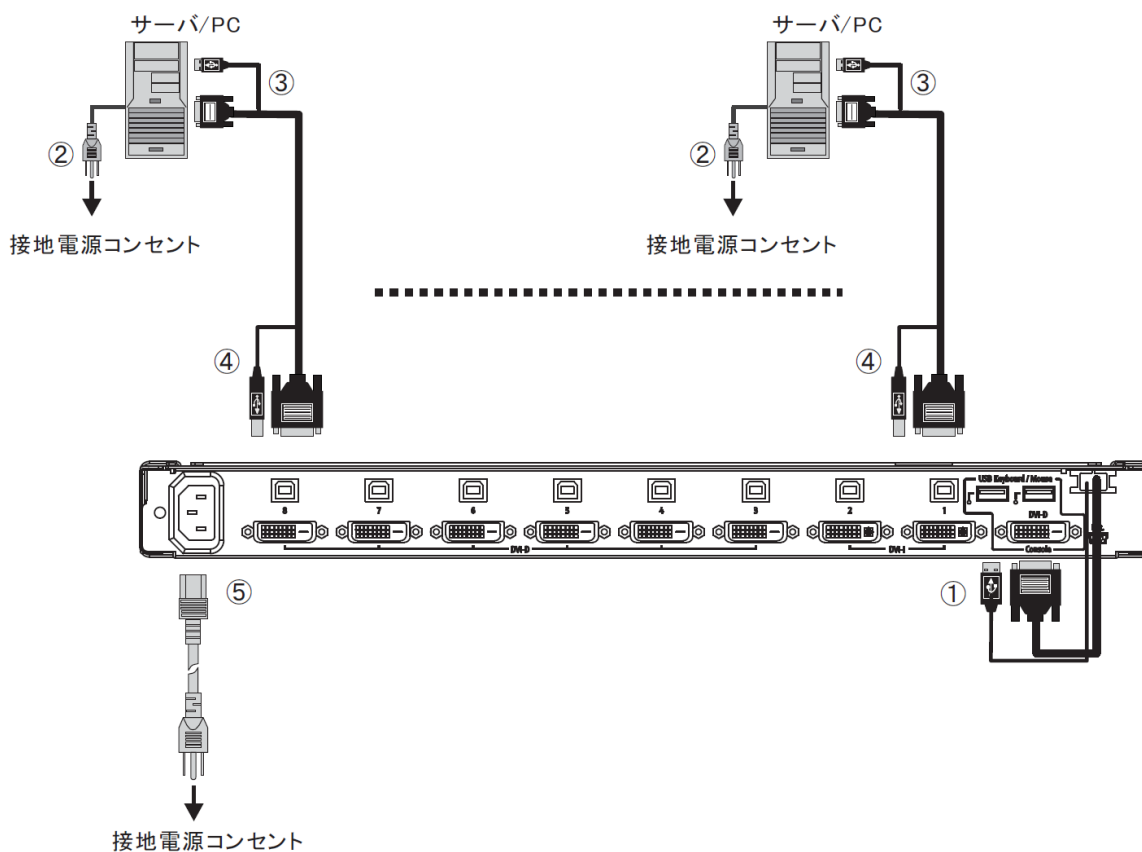


#### 注意！

各ポートに接続できるサーバ/PC 接続専用ケーブルは以下の通りです。

- ポート 1 およびポート 2 : アナログ/DVI+USB 用または DVI+USB 用
- ポート 3～ポート 8 : DVI+USB 用のみ

- (7) 電源ケーブルを本装置に接続し、電源コンセントに接続します。（図中⑤）
- (8) 使用するサーバの電源を入れます。



**注意！**

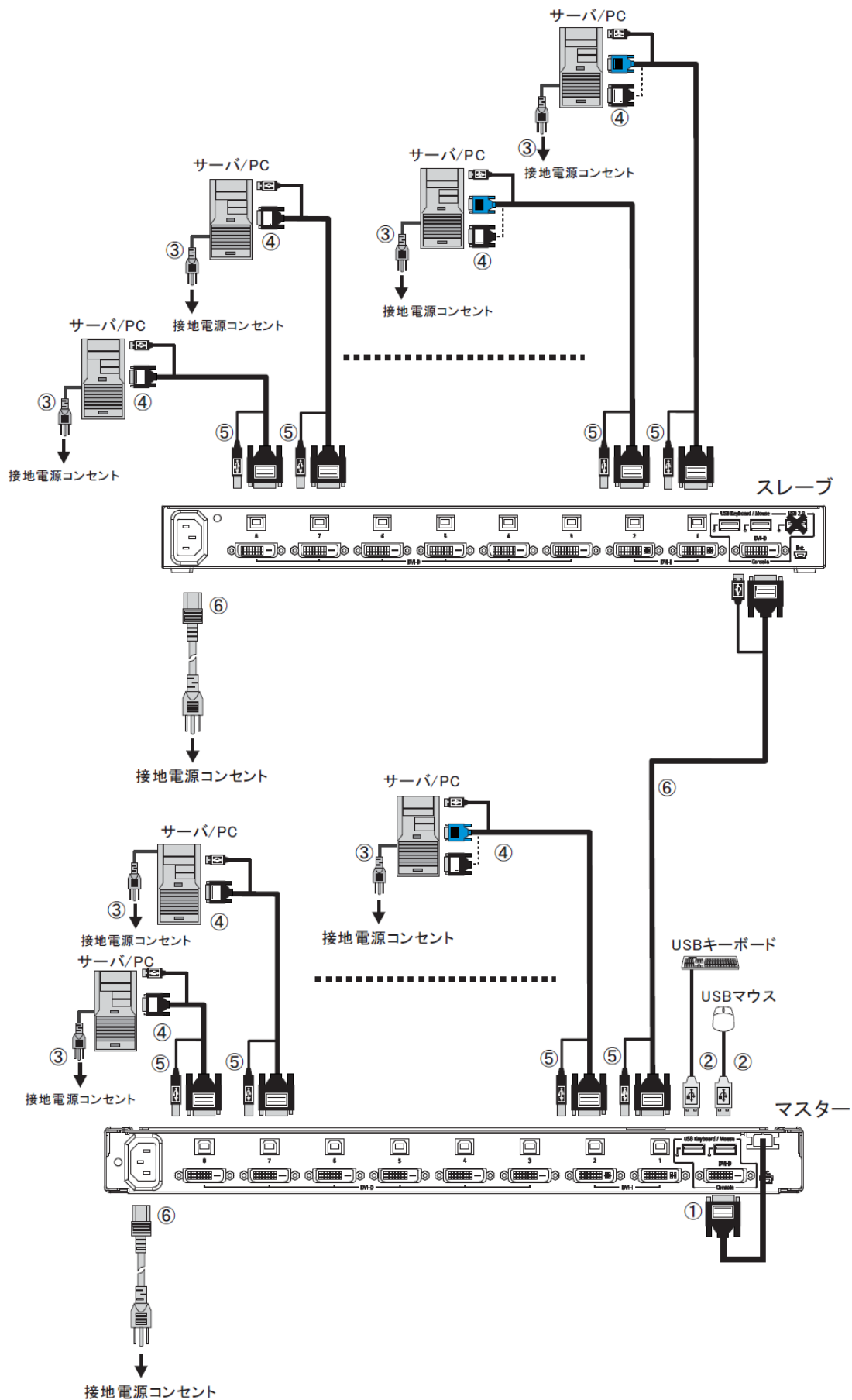
ケーブルを曲げて使用する際は、曲げ  $R \geq 60\text{mm}$  で使用してください。  
曲げ  $R$  が小さすぎるとケーブルの割れ、破断の原因になります。

### 7.1.2 カスケード接続する場合（2 段接続）

－本装置とシングルユーザーKVM スイッチ DVI モデルの場合－

本装置をマスターとしカスケード接続（最大構成：マスター1 台、スレーブ 8 台）することにより、最大 64 台のサーバが接続可能です。

- (1) 本装置の Console ポートより出ている DVI ケーブル、USB ケーブルを接続します。  
（図中①）USB ケーブルは 2 つある USB コネクタのどちらでも接続可能です。  
スレーブ側の USB ポートにはキーボード、マウスを接続しないでください。
- (2) 「7.1.1. カスケード接続しない場合（1 段接続）」の(3)～(7)と同様の手順で  
2 段目（スレーブ）のサーバ接続用ポートに 1～8 台のサーバを接続します。  
（図中②、③、④）
- (3) 1 段目（マスター）のサーバ接続用ポートと 2 段目（スレーブ）の Console ポート  
を別手配のサーバ/PC 接続専用ケーブル（DVI+USB 用 1.8m）で接続します。（図  
中⑤）
- (4) さらにスレーブを増設する場合は、(2)、(3)と同様の手順で接続します。  
\*注. 3 段のカスケード接続はできません。
- (5) 同様の手順で 1 段目（マスター）の残りサーバ接続用ポートにサーバを接続します。
- (6) 電源ケーブルを本装置に接続し、電源コンセントに接続します。（図中⑥）  
先にマスター側の電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
- (7) 使用するサーバの電源を入れます。

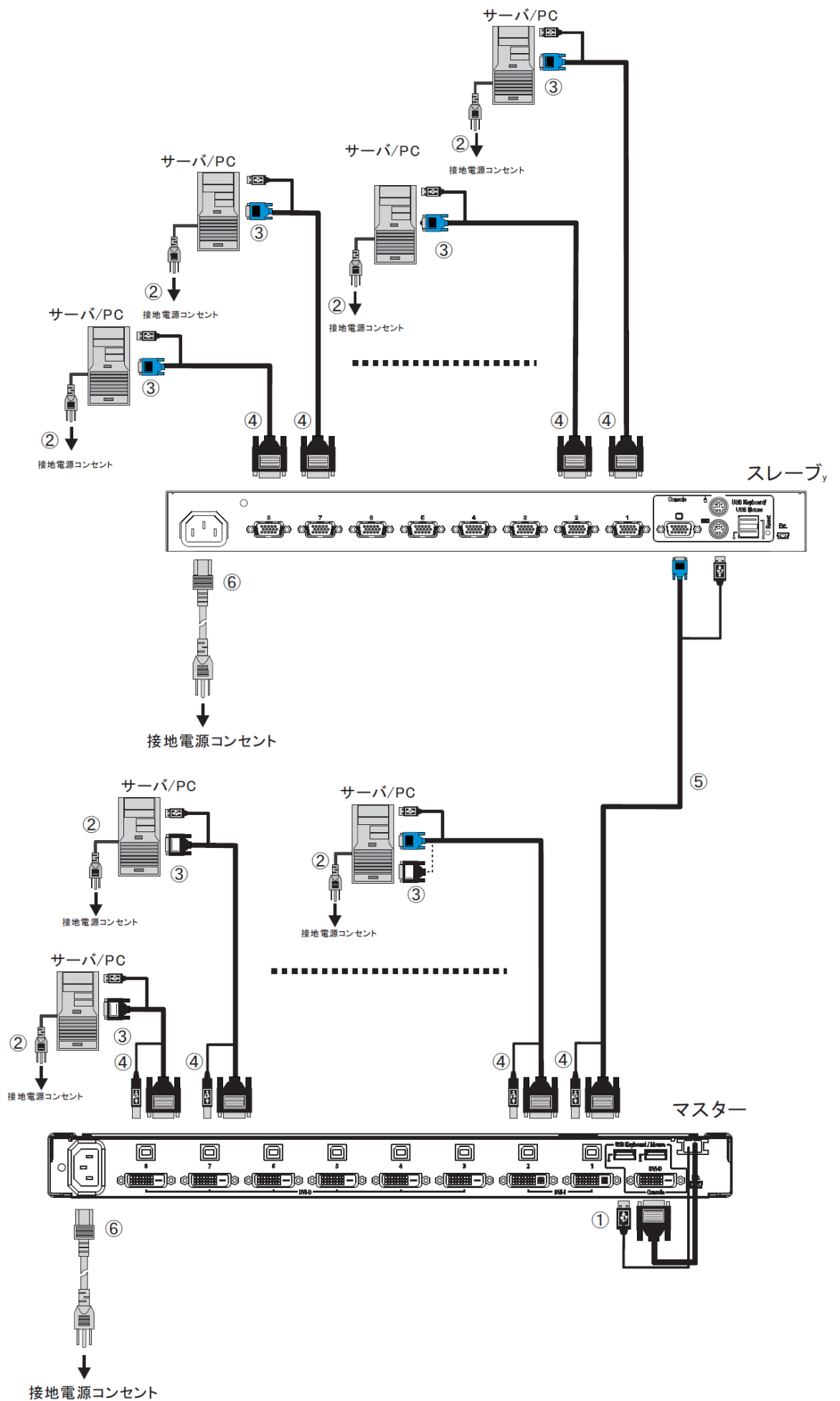


### 7.1.3 カスケード接続する場合（2 段接続）

－本装置とシングルユーザーKVM スイッチの場合－

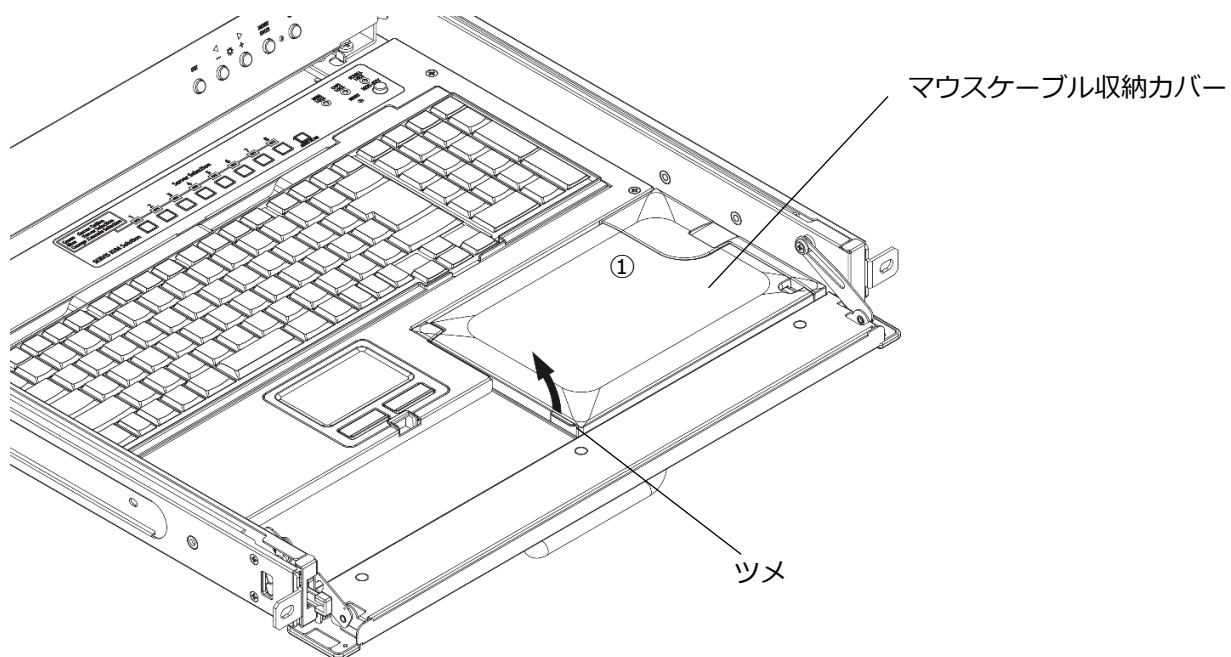
本装置をマスターとしカスケード接続（最大構成：マスター1 台、スレーブ 8 台）することにより、最大 64 台のサーバが接続可能です。

- (1) 本装置の Console ポートより出ている DVI ケーブル、USB ケーブルを接続します。  
（図中①）USB ケーブルは 2 つある USB コネクタのどちらでも接続可能です。  
スレーブ側の USB ポートにはキーボード、マウスを接続しないでください。
- (2) 「7.1.1. カスケード接続しない場合（1 段接続）」の(3)～(7)と同様の手順で 2 段目（スレーブ）のサーバ接続用ポートに 1～8 台のサーバを接続します。  
（図中②、③、④）
- (3) 1 段目（マスター）のサーバ接続用ポートと 2 段目（スレーブ）の Console ポートを別手配のサーバ/PC 接続専用ケーブル（アナログ/DVI+USB 用 1.8m）で接続します。（図中⑤）
- (4) さらにスレーブを増設する場合は、(2)、(3)と同様の手順で接続します。  
\*注. 3 段のカスケード接続はできません。
- (5) 同様の手順で 1 段目（マスター）の残りのサーバ接続用ポートにサーバを接続します。
- (6) 電源ケーブルを本装置に接続し、電源コンセントに接続します。（図中⑥）  
先にマスター側の電源ケーブルを電源コンセントに接続します。
- (7) 使用するサーバの電源を入れます。

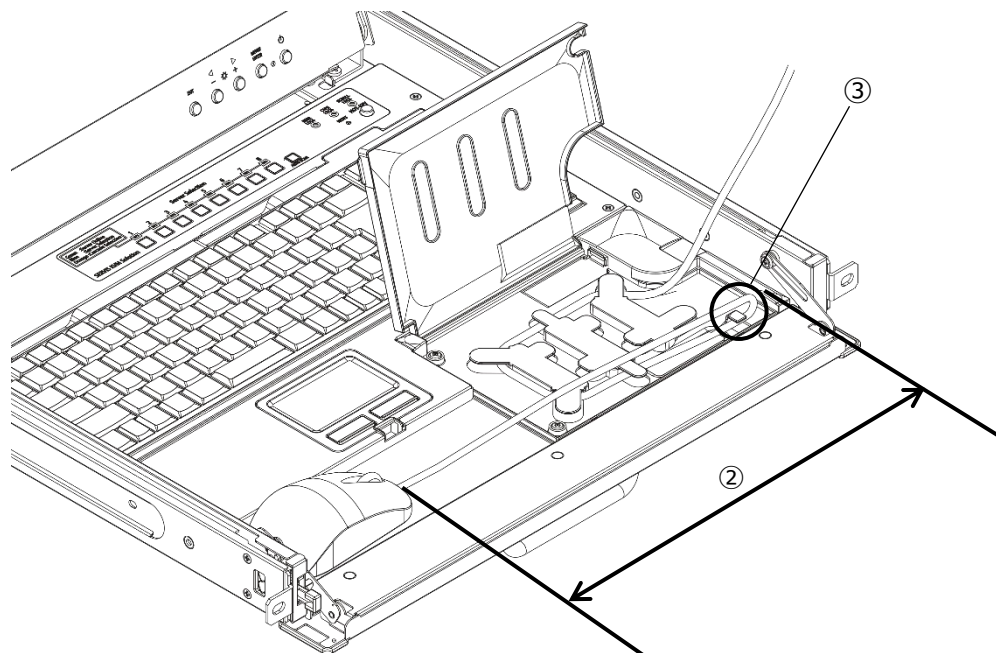


## 7.2 外付けマウス取り付け方法

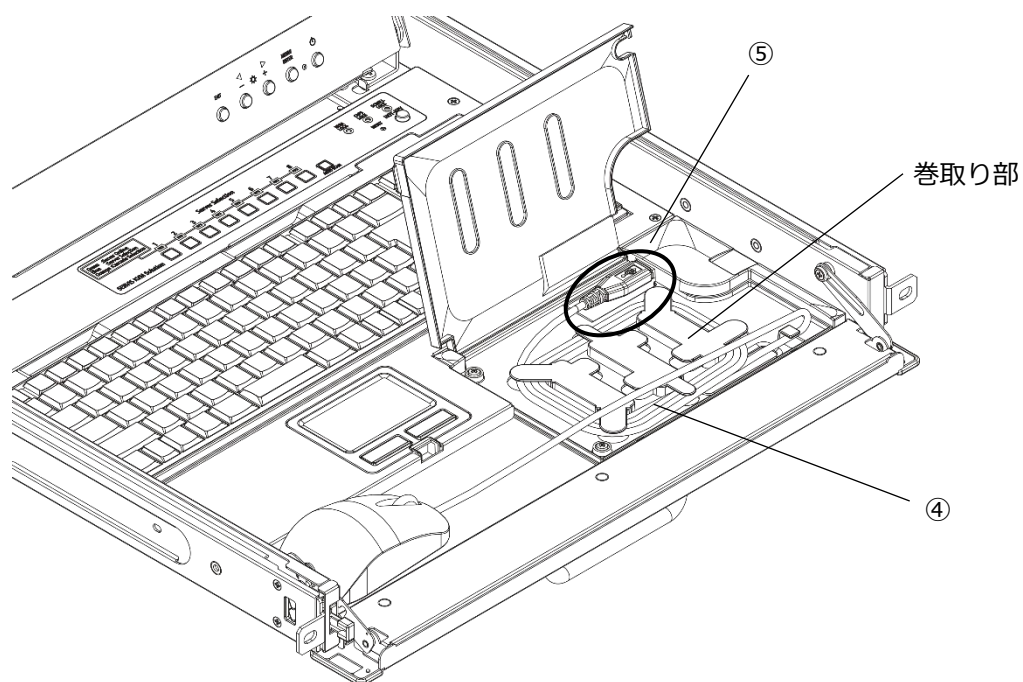
- (1) マウスケーブル収納カバーのツメを持ち、カバーを開く（図中①）。



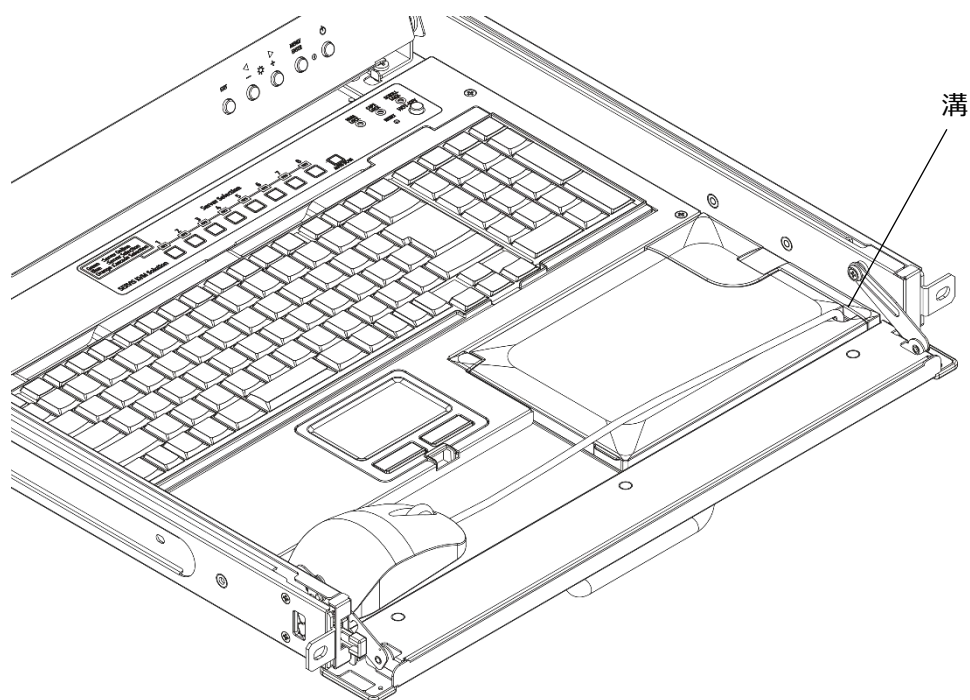
- (2) マウスケーブル収納カバーから外部に出る分だけのケーブル長さを確保(図中②)し、ケーブルを図のようにフックに引掛ける(図中③)



- (3) ケーブルを巻取り部で巻取り（図中④）、USB コネクタを接続する（図中⑤）。  
※尚、ケーブルの長さによって USB コネクタ部の接続がうまくいかない場合は、巻取り部でケーブル長さの調整を行う。



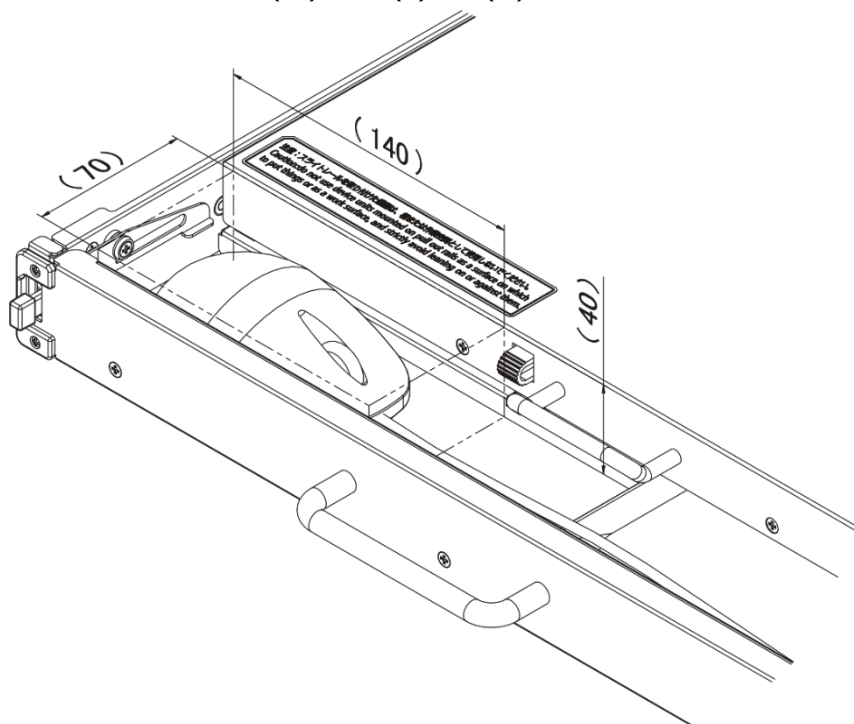
- (4) マウスケーブル収納カバーの溝からマウスのケーブルが外部へ出るように、カチッと音がするまでカバーを閉める。



(外付マウス収納完成図)

### 7.3 外付けマウスの制限寸法

外付けマウスの収納には寸法制限があります。  
マウス収納製図：70(W)×140(L)×40(H)mm

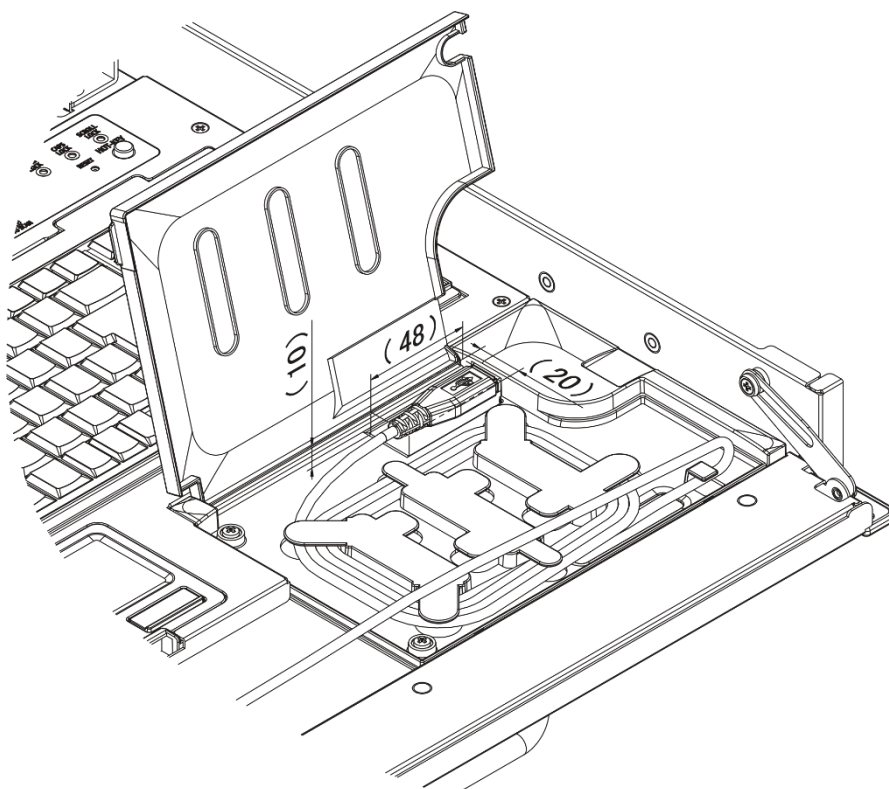


マウスケーブルの USB コネクタ外形およびケーブル径についても制限があります。

USB コネクタ外形：20(W)×48 (L) ×10 (H) mm

ケーブル径：φ4.0 以下

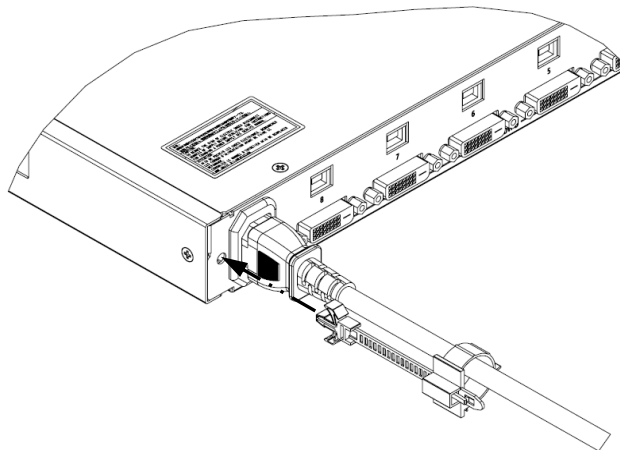
マウスケーブルにフェライトコアが付いているマウスは使用出来ません。



## 7.4 電源ケーブル抜け防止について

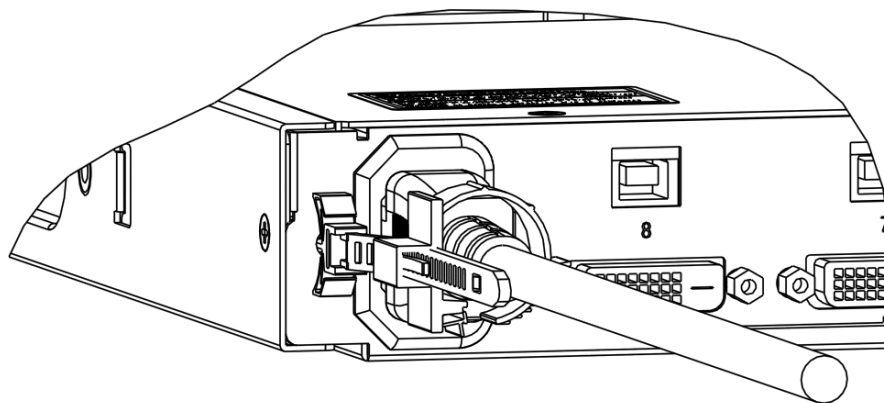
### (1) 抜け防止バンド取り付け

添付品の抜け防止バンドを電源ケーブル取り付け部横の穴に取り付けます。



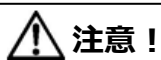
### (2) 電源ケーブルの固定

下図の通り、抜け防止バンドの保持部を電源ケーブルのコネクタ方向へ可動させ、コネクタ根本の大きさに合わせて保持部をロックします。



## 7.5 ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いた後で、各ケーブルを取り外してください。



**注意！**

本装置を交換する場合、各ケーブルを取り外す前に必ずサーバの電源をオフにしてください。データの破壊、故障の原因になります。

## 8. 操作



**注意！**

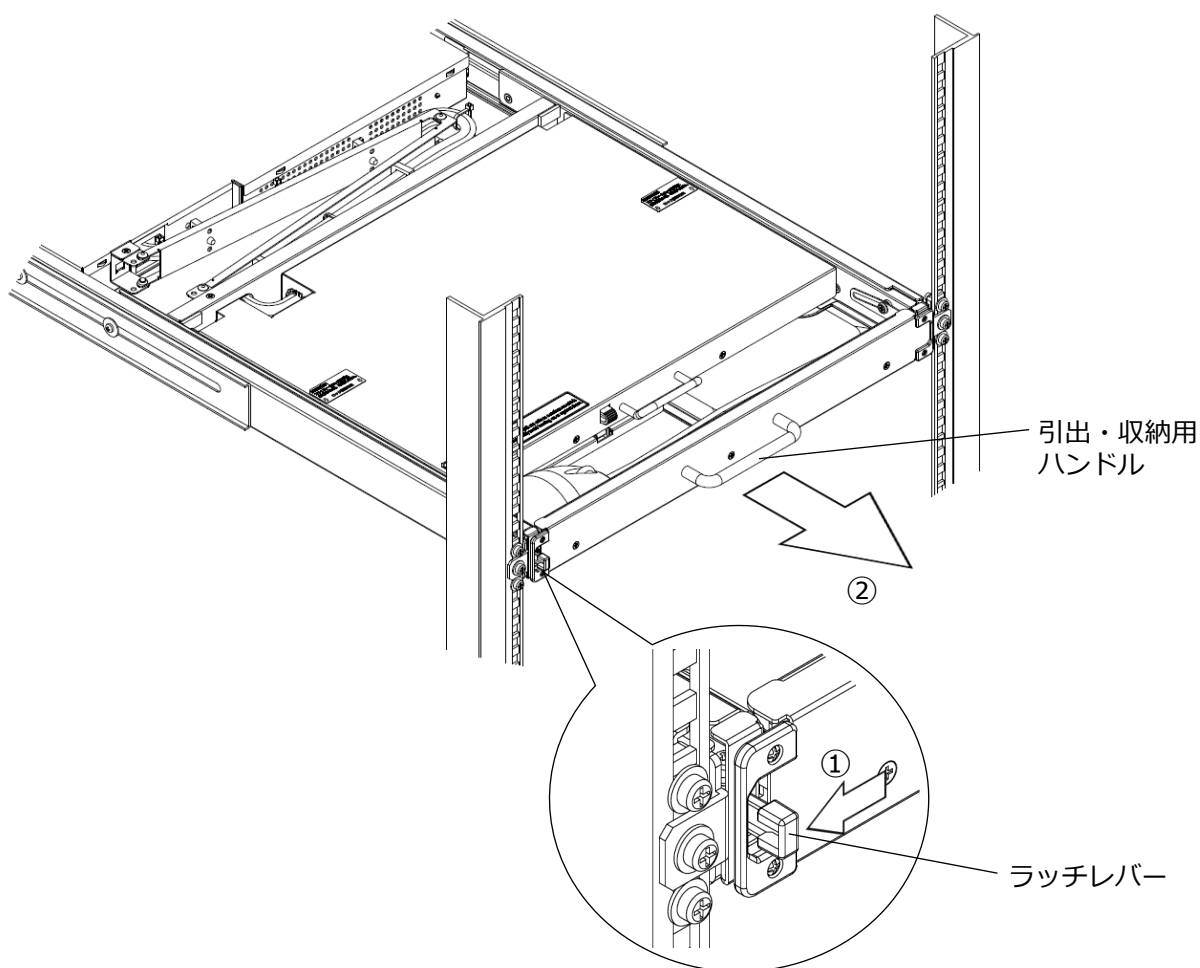
本装置は、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。

ロックされていない場合、もたれ掛かると本装置は動いてしまいます。

スライドモジュールの引き出し、押し込み時や LCD の開閉時などを実施する際には、手を挟まないよう十分注意して実施してください。

### 8.1 本装置の引き出し

装置前面左側のラッチレバー(図中①)を左へスライドさせ、ハンドルを持って本装置を引き出します。装置本体は、カチッと音がし、スライドレールがロックするまで引き出してください。

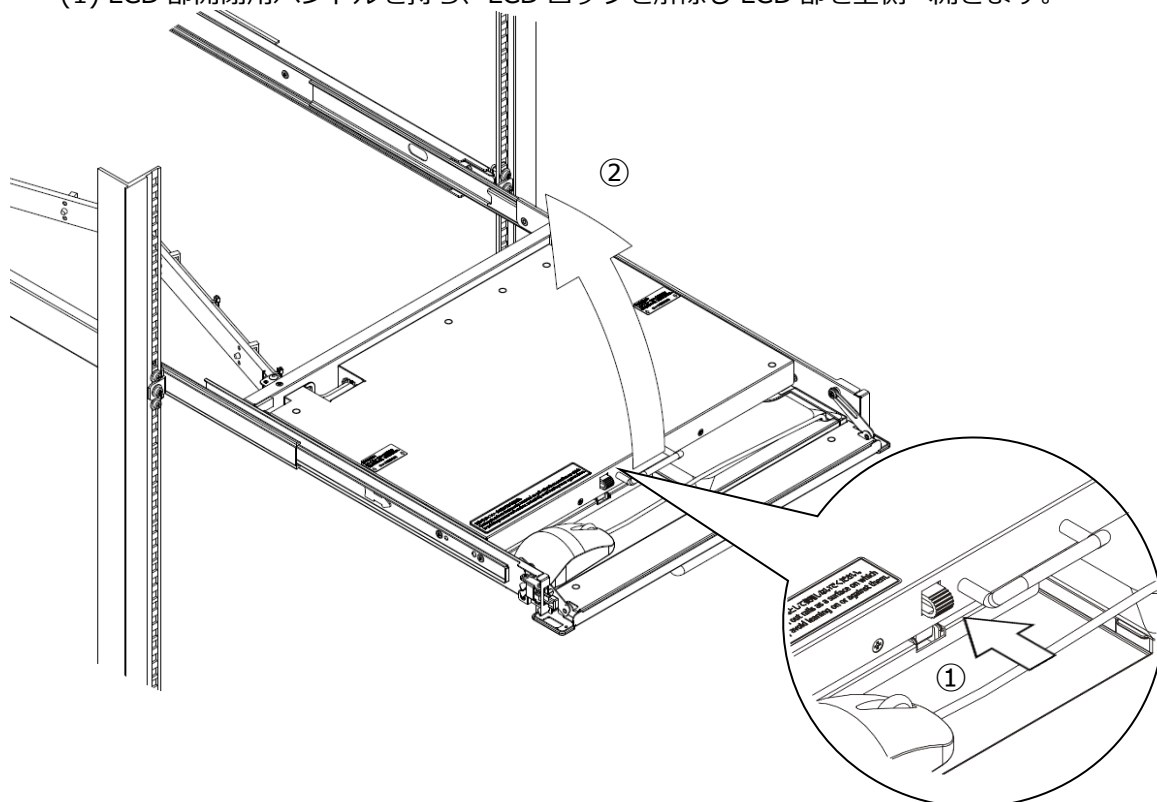


### Point

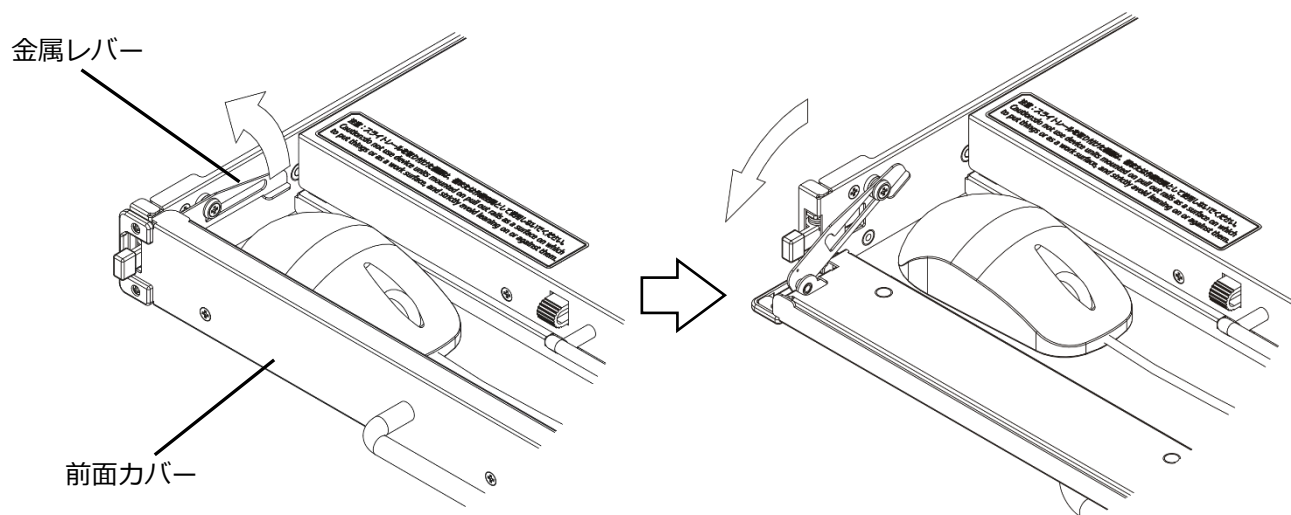
- 本装置が、前面 2 本の取付ネジでラックにきちんと固定されていることを確認してから、引き出してください。

## 8.2 本装置の開閉と格納

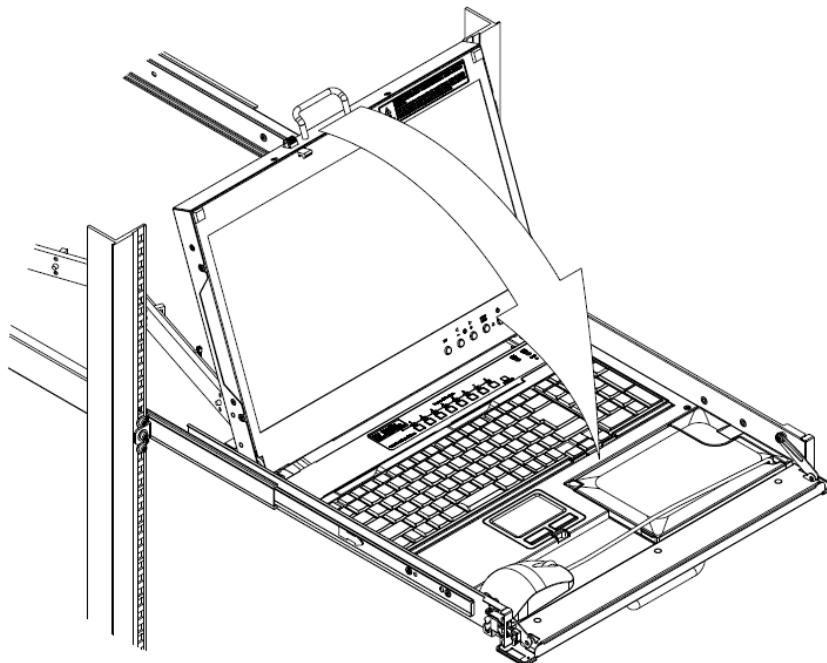
(1) LCD 部開閉用ハンドルを持ち、LCD ロックを解除し LCD 部を上側へ開きます。



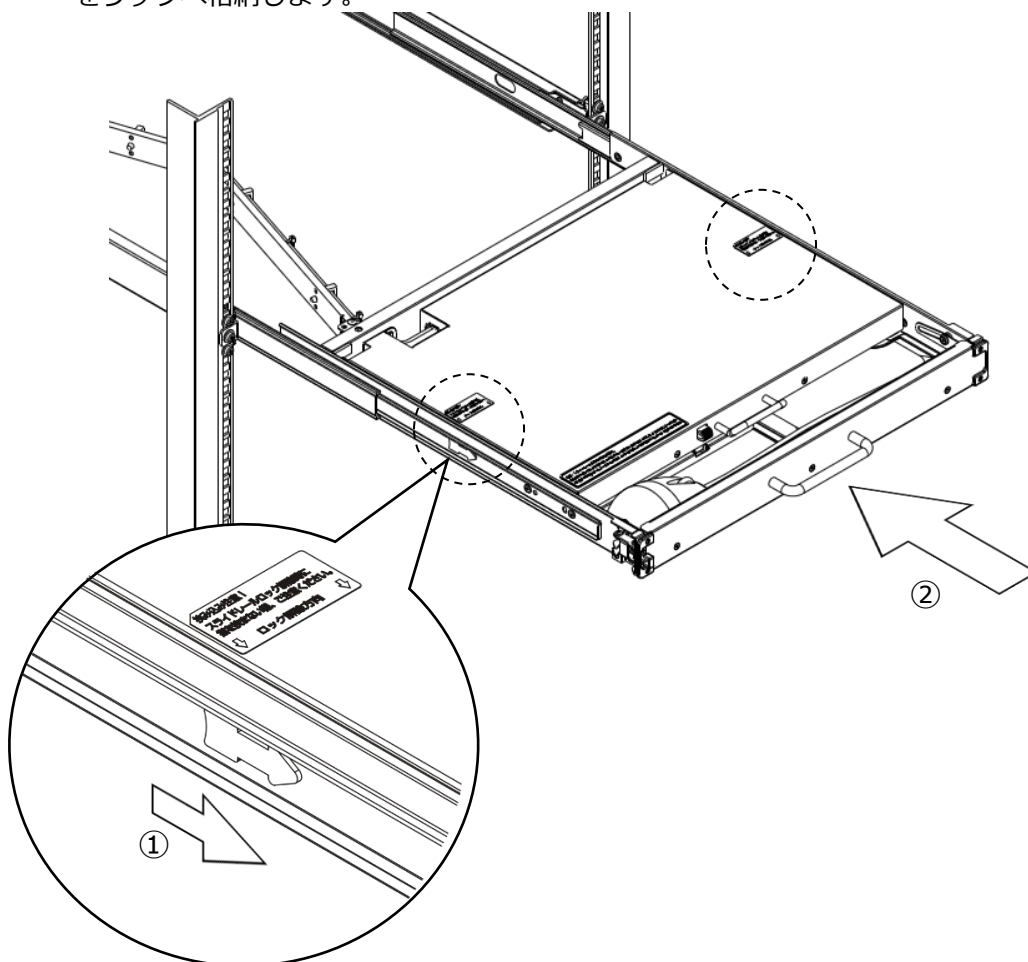
(2) キーボード、マウス、外付けマウス操作時は、前面カバー部を手前に倒しマウスが操作し易いようにします。下図に示す様に、左隅にある金属レバーを上にはげると自重で前面カバーが開きます。前面カバーを元の位置に戻すと金属レバーがロックされ前面カバーが閉じます。



- (3) LCD 部を閉じる際には、LCD 部開閉用ハンドルを持ち手前方法に閉じます。  
LCD ロックは LCD 部を閉じると自動でロックします。

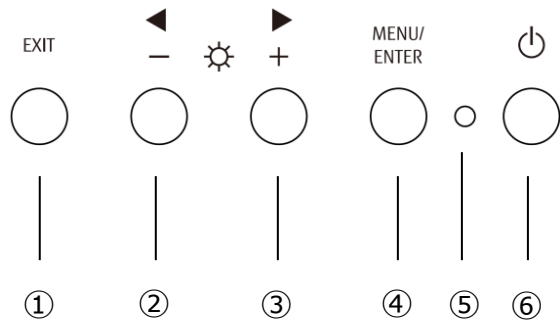


- (4) 本装置の格納の際には、前面カバーを閉じる必要があります。((2)参照)  
本装置両側面のスライドレールロックを解除し(図中①)、ハンドルを持ち本装置  
をラックへ格納します。



# 9. 画面の設定

[モニタ操作スイッチ部]を操作し画面の設定を行います。



No.	名称	内容
①	EXIT スイッチ	メニュー画面での設定を保存せずに終了します。
②	－スイッチ	OSD 非表示のときに押すと LCD の輝度が下がります。 OSD 表示のときに押すと調整値が減少します。
③	＋スイッチ	OSD 非表示のときに押すと LCD の輝度が上がります。 OSD 表示のときに押すと調整値が増加します。
④	MENU/ENTER スイッチ	OSD が表示されます。/OSD 表示のときに押すと項目を選択します。
⑤	LCD 電源 LED	青点灯    LCD 電源 ON 状態を示します。
		橙点灯    スタンバイ（パワーセーブ）状態を示します。
		消灯    LCD 電源 OFF 状態を示します。
⑥	LCD 電源スイッチ	LCD の電源をオン/オフします。

## 9.1 メインメニューの表示と設定項目の選択

(1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。



設定項目


項目	アイコン表示	説明
明るさ		画面の明るさを設定します。
コントラスト		画面のコントラストを設定します。
カラー		画面の色合いを設定します。
黒レベル		画面の黒レベルを設定します。
言語選択		OSD メニューで表示する言語を設定します。
インフォメーション		解像度、設定値等を表示します。
リセット		各項目で保存した設定を工場出荷時の状態にリセットします。

(2) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい項目のアイコンに合わせます。

(3) [MENU/ENTER]スイッチを押すと各設定画面を表示します。（図：明るさ調整の例）



## 9.2 明るさの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 明るさの設定アイコンを選択し、明るさの設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい明るさを選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。


### Point

- 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中の明るさが保存されます。
- 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

### Point

- OSD メニュー非表示のときに、[+]スイッチ又は[-]スイッチを押すことで明るさ設定画面へ直接入ることができます。

## 9.3 コントラストの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) コントラストの設定アイコンを選択し、コントラスト設定画面を表示します。




- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したいコントラストを選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。

### Point

- 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中のコントラストが保存されます。
- 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

## 9.4 カラーの設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) カラーの設定アイコンを選択し、カラー設定画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押しカラーの選択をします。  
カラーは「NATIVE」、「6500」、「USER」の3種類を選択できます。「USER」はお好みの色合いにカラーを設定できます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し設定を保存します。

### Point

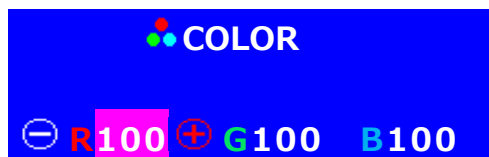
- 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく設定が保存されます。
- 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

### 「USER」の場合

- 1) 「USER」の場合は[MENU/ENTER]スイッチを押すと RGB ゲインの設定画面に入ります。




- 2) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押して R、G、B を選択します。
- 3) [MENU/ENTER]スイッチを押して RGB ゲインの調整モードに入ります。



- 4) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押しゲインの調整を行います。
- 5) [MENU/ENTER]スイッチを押して設定を保存します。

- 設定を保存したくない場合は、調整モード中であれば[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。
- 1) の RGB ゲイン設定画面の状態から[EXIT]を 2 回押すことでメインメニューに戻ります。または 10 秒間何も操作しない状態が続くと設定画面の表示は消えます。

## 9.5 黒レベル設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 黒レベルの設定アイコン  を選択し、黒レベル設定画面を表示します。




- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し設定したい黒レベルを選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し保存します。

### Point

- 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中の黒レベルが保存されます。
- 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

## 9.6 言語の設定方法

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) 言語の設定アイコン  を選択し、言語設定画面を表示します。  
現在選択されている言語が表示されます。




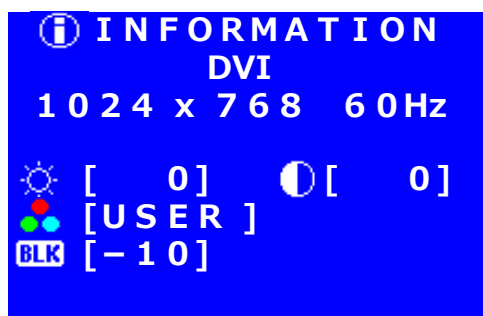
- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し選択したい言語を選びます。
- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押し設定を保存します。

### Point

- 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと[MENU/ENTER]スイッチを押すことなく画面に表示中の言語が保存されます。
- 設定を保存したくない場合は、[EXIT]スイッチを押してキャンセルできます。

## 9.7 情報表示


- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) インフォメーションのアイコン  を選択し、情報を表示します。



### Point

- 情報表示画面から 10 秒間、何も操作をしない状態が続くと、表示は消えます。
- [MENU/ENTER]スイッチを押すとメインメニューに戻ります。

## 9.8 リセット

- (1) [MENU/ENTER]スイッチを押し OSD メニューを表示します。
- (2) リセットの設定アイコンを選択し、リセット画面を表示します。



- (3) [+]スイッチ又は[-]スイッチを押し、リセットのモードを選択します。

### ・ READJUSTING



### ・ COLOR



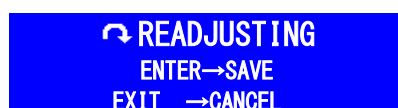
### リセット実行項目

	READJUSTING	COLOR
明るさ	100	100
コントラスト	0	0
カラー	NATIVE	NATIVE
ユーザー (R:G:B)	100	---
黒レベル	0	0
言語	---	---

※ ---はリセットされません。

- (4) [MENU/ENTER]スイッチを押すと下記のようにリセットを実行するかキャンセルするか聞かれます。

### ・ READJUSTING



### ・ COLOR



- (5) [MENU/ENTER]スイッチを押すとリセットが実行されます。  
リセットを実行しない場合は[EXIT]スイッチでキャンセルします。

## 10. KVM スイッチ部 ホットキーモードの操作方法

ホットキーモードに入ることにより、サーバの選択やビデオ入力信号の切替設定を行うことができます。以下の操作のいずれかを行うことでホットキーモードに入り、OSD 画面が表示されます。尚、最初の OSD 画面は SERVER SELECTION 画面が表示されます。

No.	操作方法
①	サーバ選択スイッチ部の[Hot-Key]スイッチを押します。
②	<Ctrl>と<Alt>と<Shift>を同時に押します。
③	<CTRL>を素早く 2 回押します。
④	<Scroll Lock>を素早く 2 回押します。

### Point

- 上記以外の方法（マウスのセンターボタンを押す操作）でホットキーモードに入るよう設定することができます。詳細は次項「9.1. カスタマーモード設定」をご覧ください。
- ホットキーモード中は、接続しているキーボードの"Scroll Lock" LED が 400ms 間隔で点滅します。又、[Server Selection]LED （選択されているポート）は 400ms 間隔で青色点滅します。（カスケード接続のスレーブ側は点滅しない。）

### 10.1 カスタマーモード設定（CUSTOMER MODE）

#### 10.1.1 CUSTOMER MODE 1/3 ホットキーモード操作設定

ホットキーモードへ入る操作方法の設定変更をすることができます。

設定値	内容
ON	ホットキーモード（SERVER SELECTION 画面）へ入ります。
OFF	設定を無効にします。

CUSTOMER MODE		1/3
HOTKEY SELECT		
CTRL + ALT + SHIFT		: ON
CTRL × 2TIMES		: ON
SCROLL LOCK × 2TIMES		: ON
MOUSE CENTER BUTTON		: OFF
ARW	: SELECT	
ENT	: SET	ESC : EXIT
P	: PREVIOUS PAGE	N : NEXT PAGE

No.	項目	操作方法	初期設定値
①	CTRL + ALT + SHIFT	[Hot-Key]スイッチを押します。または、<Ctrl>と<Alt>と<Shift>を同時に押します。	ON
②	CTRL × 2TIMES	<CTRL>を素早く 2 回押します。	ON
③	SCROLL LOCK × 2TIMES	<Scroll Lock>を素早く 2 回押します。	ON
④	MOUSE CENTER BUTTON	マウスのセンターボタンを押します。	OFF



### 注意！

- モードは自由に設定することができ、①～③の設定を全て“OFF”に設定することはできません。

SERVER SELECTION 画面より<N>またはマウスの右ボタンを押すことで本モード（CUSTOMER MODE 1/3）に移ります。

#### CUSTOMER MODE 1/3 操作方法

操作方法	内容
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	選択カーソルが移動します。
<Enter>を押します。 マウスセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。	設定変更モードに移ります。 設定変更モード内での操作方法是次ページの「設定変更モード 操作方法」をご覧ください。
<Esc>を押します。 <Alt>と<Ctrl>と<Shift>を同時に押します。 [Server Selection]スイッチを押します。	選択をキャンセルしホットキーモードを終了します。
<N>を押します。 マウスの右ボタンを押します。	CUSTOMER MODE 2/3 を表示します。
<P>を押します。 マウスの左ボタンを押します。	SERVER SELECTION 画面に戻ります。

### 設定変更モード 操作方法

操作方法	内容
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	設定値の変更をします。
<Enter>を押します。 マウスのセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。 マウスの左ボタンを押します。	設定値を保存し CUSTOMER MODE 1/3 に戻ります。
<Esc>を押します。 マウスの右ボタンを押します。	設定をキャンセルし CUSTOMER MODE 1/3 に戻ります。
[Server Selection]スイッチを押します。	設定をキャンセルしホットキーモードを終了します。

## 10.1.2 CUSTOMER MODE 2/3 ポート選択設定及びキーボードの言語設定

### ① POWER-ON PORT

設定値	内容
NORMAL	サーバが全て電源 OFF の状態から初めて電源 ON となったサーバのポートにキーボード/マウス/ビデオ信号を自動的に選択します。
1PORT	KVM 電源 ON 時にポート 1 を選択します。サーバ電源 ON 時に自動選択せず、現在選択しているポートの選択を維持します。

### ② AUTOSCAN TIME

オートスキャンの切り替えタイミングを 3/5/10/20/40/60 秒の範囲で設定します。

### ③ KEYBOARD TYPE

サーバに対して接続してあるキーボード言語を通知します。



#### 注意！

- UNIX OS を使用している場合は言語設定が自動的に反映され、Windows OS を使用している場合、本設定は無効となります

CUSTOMER MODE		2/3
PORT SELECT SETTING		
POWER-ON PORT : <b>NORMAL</b>		
AUTOSCAN TIME : <b>10SEC</b>		
KEYBOARD TYPE: <b>JAPANESE</b>		
MONITOR TYPE: LCD-17.3FHD		
ARW: SELECT ENT: SET                      ESC: EXIT P : PREVIOUS PAGE   N : NEXT PAGE		

No.	項目	設定値	初期設定値
①	POWER-ON PORT	NORMAL 1PORT	NORMAL
②	AUTOSCAN TIME	3SEC 5SEC 10SEC 20SEC 40SEC 60SEC	10SEC
③	KEYBOARD TYPE	JAPANESE→ENGLISH US→ENGLISH UK→ GERMAN→FRENCH→SPANISH→SWEDISH →PORTUGUESE→CHINESE TAIPEI→ KOREAN→ITALIAN→UNIX→NORWEGIAN →BELGIAN→DANISH	JAPANESE

CUSTOMER MODE 1/3 より<N>またはマウスの右ボタンを押すことで本モード (CUSTOMER MODE 2/3) に移ります。

#### **CUSTOMER MODE 2/3 操作方法**

操作方法	内容
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	選択カーソルが移動します。
<Enter>を押します。 マウスのセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。	設定変更モードに移ります。 設定変更モード内での操作方法是下記の 「設定変更モード 操作方法」をご覧ください。
<Esc>を押します。 <Alt>と<Ctrl>と<Shift>を同時に押します。 [Server Selection]スイッチを押します。	選択をキャンセルしホットキーモードを終了します。
<N>を押します。 マウスの右ボタンを押します。	CUSTOMER MODE 3/3 を表示します。
<P>を押します。 マウスの左ボタンを押します。	CUSTOMER MODE 1/3 を表示します。

#### **設定変更モード 操作方法**

操作方法	内容
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	設定値の変更をします。
<Enter>を押します。 マウスのセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。 マウスの左ボタンを押します。	設定値を保存し CUSTOMER MODE 2/3 に戻ります。
<Esc>を押します。 マウスの右ボタンを押します。	設定をキャンセルし CUSTOMER MODE2/3 に戻ります。
[Server Selection]スイッチを押します。	設定をキャンセルしホットキーモードを終了します。

### 10.1.3 CUSTOMER MODE 3/3 入力画像信号の選択及びプラグアンドプレイモニター名表示

内部ファームウェアのバージョンを表示します。

CUSTOMER MODE		3/3
FIRMWARE VERSION:		
MAIN :	1.00	OSD: 1.05
FRONT:	1.00	
PORT1:	0.01	PORT2: 0.01
PORT3:	0.01	PORT4: 0.01
PORT5:	0.01	PORT6: 0.01
PORT7:	0.01	PORT8: 0.01
P : PREVIOUS PAGE		ESC: EXIT

CUSTOMER MODE 2/3 より<N>またはマウスの右ボタンを押すことで本モード (CUSTOMER MODE 3/3) に移ります。

#### CUSTOMER MODE 3/3 操作方法

操作方法	内容
<Esc>を押します。 <Alt>と<Ctrl>と<Shift>を同時に押します。 [Server Selection]スイッチを押します。 マウスの右ボタンを押します。	選択をキャンセルしホットキーモードを終了します。
<P>を押します。 マウスの左ボタンを押します。	CUSTOMER MODE 2/3 を表示します。

## 10.2 ビデオ設定 (VIDEO SETTING MODE)

ポート 1 及びポート 2 のみアナログ入力信号に対応しています。

初期値はデジタル入力信号に設定されていますので、アナログ入力でご使用になられる場合は本項の設定を行ってください。

### ① VIDEO INPUT

設定値	内容
DVI-D (初期設定値)	デジタル入力信号を切り替えます。
DVI-A	アナログ入力信号をデジタルに変換して切り替えます。



### 注意！

- 本項目の選択時に PNP データの更新を行うため一瞬 OSD 画面表示が非表示となります。

### ② ANALOG VIDEO SETTING

VIDEO INPUT にて DVI-A を選択した場合のみ設定可能です。

各設定値はポートごと、対応解像度ごとに値を記憶します。

No.	項目	機能	設定値
1	AUTO PHASE ADJUST	PHASE 値の自動調整を行います。	—
2	AUTO SIZE	POSITION 値の自動調整を行います。	—
3	BRIGHTNESS	画面の明るさを調整します。	0～255 初期値 85
4	POSITION	画面表示位置を調整します。	0～1023 初期値 解像度による
5	PHASE	画面のちらつき及びにじみを調整します。	0～63 初期値 解像度による
6	HSYNC TH.	水平同期信号の入力レベルを調整します。	0～15 初期値 4
7	FACTORY RESET	上記設定値を工場出荷状態に戻します。	—

### ③ INFORMATION

現在の解像度及びリフレッシュレートを表示します。

未接続の場合は NO SIGNAL と表示します。

1 行目に設定しているポート番号及びサーバ名を表示します。

VIDEO SETTING MODE			
1 SU1			
VIDEO INPUT	: DVI-A		
ANALOG VIDEO SETTING			
AUTO PHASE ADJUST			
AUTO SIZE			
BRIGHTNESS	50		
POSITION	H	50	V 50
PHASE	10		
HSYNC TH.	4		
FACTORY RESET			
INFORMATION: 1920×1080 60HZ			
ARW: SELECT ENT: SET S : SAVE			
ESC: EXIT			

DVI-A 設定のポートからホットキーモード（SERVER SELECTION 画面）に入ったのち  
 <S>を押すことで本モード（VIDEO SETTING MODE）に移ります。

#### VIDEO SETTING MODE 操作方法

操作方法	内容	
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	選択カーソルが移動します。	
<Enter>を押します。 マウスのセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。	VIDEO INPUT 選択時	VIDEO INPUT 設定モードに移ります。
	AUTO PHASE ADJUST AUTO SIZE 選択時	各設定値を変更します。
	FACTORY RESET 選択時	各設定値を工場出荷時に変更し設定値を保存します。
	BRIGHTNESS POSITION PHASE HSYNC TH. 選択時	サーバ画面（アナログ）を表示し ANALOG VIDEO 設定モードに移ります。
<Esc>を押します。 <Alt> と <Ctrl> と <Shift> を同時に押します。	設定値をキャンセルし、SERVER SELECTION 画面に戻ります。	
<S>を押します。	設定値を保存し、SERVER SELECTION 画面に戻ります。	
[Server Selection]スイッチを押します。	設定をキャンセルしホットキーモードを終了します。	

**VIDEO INPUT 設定変更モード 操作方法**

操作方法	内容
<↑>を押します。 <↓>を押します。 マウススクロールを操作します。	設定値を変更します。
<Enter>を押します。 マウスのセンターボタンを押します。 マウス左右ボタンを同時に押します。 マウス左ボタンを押します。	設定値を仮確定し VIDEO SETTING MODE に戻ります。
<Esc>を押します。 マウス右ボタンを押します。	設定をキャンセルし VIDEO SETTING MODE に戻ります。
[Server Selection]スイッチを押します。	設定をキャンセルしホットキーモードを終了します。

**ANALOG VIDEO 設定変更モード 操作方法**

操作方法	内容
<→><←> <↑><↓> ※	設定値を変更します。
<Enter>を押します。	設定値を確定し VIDEO SETTING MODE に戻ります。
<Esc>を押します。	設定をキャンセルし VIDEO SETTING MODE に戻ります。
[Server Selection]スイッチを押します。	設定をキャンセルしホットキーモードを終了します。

※POSITION 設定時のみ有効です。


注：表示中の解像度変更があった場合は、  
設定をキャンセルし SERVER SELECTION 画面に戻ります。

## 10.3 OSD でのサーバ切り替え機能 (SERVER SELECTION)



ホットキーモードに入ると、画面上に OSD の画面が表示 (SERVER SELECTION 画面) され、OSD 表示を見ながら、ポートの選択を行うことができます。

### 10.3.1 SERVER SELECTION

CUSTOMER MODE 1/3 にて「ON」設定を行った操作にて本モード (SERVER SELECTION) に入ります。

SERVER SELECTION		
MASTER		SLAVE
1	 SU1	
2	SU2	
3	SU3	
4	SU4	
5	SU5	
6	SU6	
7	SU7	
8	SU8	
ENT: SET		
ARW	: SELECT	0 : AUTO SCAN
TAB	: CHANGE NAME	ESC: EXIT
S	: VIDEO SETTING	N : NEXT PAGE

画面の説明

凡例	内容
	各ポートのサーバの電源状態を表します。
	緑色 電源 ON 状態を示します。
	白色 電源 OFF 状態を示します。
	キーボード、マウス、ビデオが選択されているポートを表します。
SU4	選択を行うカーソルを表します。
SU1	各ポートに接続されたサーバ名を表示します。

# OSD 画面でのサーバ切り替え 操作方法

操作方法	内容
<↑> <↓> マウススクロール <←> ※1 <→> ※1	選択カーソルが移動します。
<Enter> マウスセンターボタン マウス左右ボタン同時	選択カーソルのポートにキーボード/マウス/ビデオ信号を切り替えてホットキーモードを終了します。
<1> <2> <3> <4> <5> <6> <7> <8> <F1> ※1 <F2> ※1 <F3> ※1 <F4> ※1 <F5> ※1 <F6> ※1 <F7> ※1 <F8> ※1 <F9> ※1 <F10> ※1 <F11> ※1 <F12> ※1 <F>+<1> ※1,2 <F>+<2> ※1 <F>+<3> ※1 <F>+<4> ※1 <F>+<5> ※1 <F>+<6> ※1 <F>+<7> ※1 <F>+<8> ※1 <F>+<9> ※1 <F>+<1> ※3+<0> ※1 <F>+<1> ※3+<1> ※1 <F>+<1> ※3+<2> ※1 <F>+<1> ※3+<3> ※1 <F>+<1> ※3+<4> ※1 <F>+<1> ※3+<5> ※1 <F>+<1> ※3+<6> ※1	数字のポートにキーボード/マウス/ビデオ信号を切り替えてホットキーモードを終了します。  対象ポートがカスケード接続している場合は対象ポートに選択カーソルを移動します。

操作方法	内容
<Esc> <Alt>+<Ctrl>+<Shift> [Server Selection]スイッチ押下	選択をキャンセルしホットキーモードを終了します。
<0>	ホットキーモードを終了し、オートスキャンモードに移行します。
<N> マウス右ボタン	CUSTOMER MODE を表示します。
<Tab>	サーバ名変更モードに移ります。
左<Ctrl>+右<Shift>+<Tab> 右<Ctrl>+左<Shift>+<Tab>	サーバ名称を工場出荷状態に戻します。
<S>	選択カーソルのあるポートのビデオ設定を行います。 VIDEO SETTING MODE に移ります。
<Shift>	カスケード接続時：マスター側のサーバ名を 17 文字表示します。

※1 カスケード接続時に有効です。

※2 「1」を押した後 1 秒後に確定します。

※3 「1」を押した後 1 秒以内に次のキーを押します。

### 10.3.2 サーバ名変更モード

SERVER SELECTION 画面にて<Tab>を押すことで本モードに移動します。

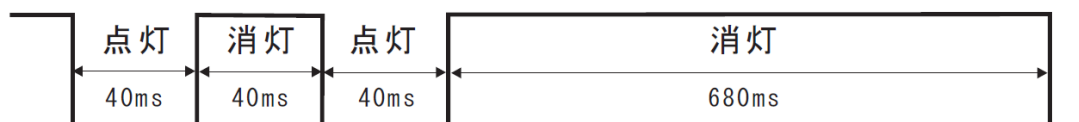
#### サーバ名変更モード 操作方法

操作方法	内容
<←> <→>	選択カーソルが移動します。
<Enter>	サーバ名称の変更を確定しホットキーモードに戻ります。
<DEL>	1 文字削除します。
<Back Space>	後退します。
[Server Selection]スイッチ押下	サーバ名変更をキャンセルしホットキーモードを終了します。
<Esc>	サーバ名変更をキャンセルし SERVER SELECTION に戻ります。
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 1234567890,./[:+×-及びスペース	文字入力します。

### 10.3.3 オートスキャンモード

SERVER SELECTION 画面中に<0>またはフロントパネルの[AUTO SCAN]スイッチを押すと本モードに移ります。キーボードの[Scroll Lock] LED が 400ms 間隔で点滅し、KVM スwitchの[Sever Selection]LED （選択されているポート）が”タイミング 1”で青色点滅します。サーバ電源が ON になっているポートを CUSTOMER MODE 2/3 で設定した周期で自動的にビデオ信号のみを切り替えます。

タイミング 1



#### オートスキャンモード 操作方法

操作方法	内容
[AUTO SCAN]スイッチ マウスセンターボタン マウス左ボタン <Enter>	表示中のポートに切り替えを行い、オートスキャンを終了します。
<Esc> <Alt> + <Ctrl> + <Shift> マウス右ボタン	オートスキャンを開始したときのポートに戻り、オートスキャンを終了します。

## 11. タッチパッド機能 ON－OFF 設定

タッチパッドの機能を有効または無効にすることができます。  
デフォルト（工場出荷時）は有効です。

タッチパッド機能の設定を行うときは、以下の操作を行ってからにしてください。

- (1) [HOT-KEY]スイッチを1回押して、ホットキーモードに入ります。
- (2) <N>を押して、CUSTOMER MODE 1/3に入ります。
- (3) 「CTRL+ALT+SHIFT」が選択されていることを確認し、<Enter>を押します。
- (4) <↑>または<↓>を押して、「OFF」を選択します。
- (5) <Enter>を押します。
- (6) [HOT-KEY]スイッチを1回押して、ホットキーモードを抜けます。

※上記の設定をすると、

- ①[HOT-KEY]スイッチを押してもホットキーモードには入らなくなります。
- ②<Ctrl>、<Alt>、<Shift>を同時に押すキー操作ではホットキーモードには入らなくなります。①、②を有効にしたい場合は、(4)を「ON」にしてください。

### 無効にする場合の操作

- (1)[HOT-KEY]スイッチを5秒以上押してタッチパッド設定モードに入ります。  
設定モードに入るとNUM LOCK LED→CAPS LOCK LEDの順で繰り返し点滅します。
- (2)[HOT-KEY]スイッチを押したままテンキーの<6>を押します。続けて<0>を押します。
- (3)[HOT-KEY]スイッチを離して設定を終了します。  
設定が正常に完了するとCAPS LOCK LEDが4回点滅します。

### 有効にする場合の操作

- (1)[HOT-KEY]スイッチを5秒以上押してタッチパッド設定モードに入ります。  
設定モードに入るとNUM LOCK LED→CAPS LOCK LEDの順で繰り返し点滅します。
- (2)[HOT-KEY]スイッチは押したままテンキーの<6>を押します。続けて<1>を押します。
- (3)[HOT-KEY]スイッチを離して設定を終了します。  
設定が正常に完了するとNUM LOCK LEDが4回点滅します。

※入力ミスがあった場合は、一度[HOT-KEY]スイッチを離してから再度やり直してください。

## 12. 本装置のお手入れ



### 注意！

- モニタの電源を切り、電源ソケットから電源プラグを抜いてください。
- 研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。
- 水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や破損の原因になります。

装置本体とモニタの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。ほこりはやわらかいブラシなどで掃ってください。

キーボードとポインティングデバイスを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニタ画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで掃ってください。

## 13. 技術仕様

項目		仕様
名称	フル HD1U ドロワー（KVM スイッチ DVI モデル内蔵）	
形格	FD-6008DVI/J	FD-6008DVI/JW
筐体色	黒	白
必要ラックユニット数	1U	
液晶パネル	17.3 型 FullHD TFT カラーLCD	
モニタ解像度/リフレッシュレート	1920×1080/60Hz	
表示色	最大 1,677 万色	
輝度	400cd/m <sup>2</sup> (typ)/315cd/m <sup>2</sup> (min)	
コントラスト = 全白輝度：全黒輝度	600(typ.) /500(min.)	
視野角	水平方向 左右 160°(typ)(CR≥10) 垂直方向 上 60°(typ) 下 80°(typ)(CR≥10)	
LCD 表面処理	グレア処理（硬度 3H）	
キーボード	キー数	108 キー（JP）
	ストローク	3.0mm±0.5mm
	動作力	0.539N
	打鍵寿命	500 万回以上
タッチパッド	基本分解能	X=160cosθ±16counts Y=240sinθ±24counts 操作距離 10mm 操作速度 280mm/sec
	方式	静電容量方式
	タップ機能	あり（シングルクリック、ダブルクリック、ドラッグ、スクロール）
	SW 打鍵寿命	5 万回以上
モニタ操作 スイッチ部	打鍵寿命	5 千回以上
サーバ選択 スイッチ部	打鍵寿命	Server Selection スイッチ：1 万回以上 AUTO SCAN スイッチ：1 万回以上 RESET スイッチ：1 万回以上 HOT-KEY スイッチ：1 万回以上
サーバ接続台数	最大 8 カスケード接続により拡張可能	
サーバ選択方式	Server Selection スイッチ、OSD（ホットキーモード）	
サーバとのインターフェイス仕様	USB	USB-B メス ×8
	DVI-D	DVI 24P メス ×6
	DVI-I	DVI 29P メス ×2
Console ポートコネクタ	モニタ	DVI 24P メス ×1
	USB	USB キーボード、マウス（Low,Full スピード） KVM スイッチ部の USB ポートには外部 USB デバイスの接続は不可 外付けマウス用 USB ポートには USB マウスのみ接続可能
OSD モード	マニュアル（ホットキー）モード	

オートスキャン機能		3/5/10（初期値）/20/40/60 秒の周期にてサーバ画面の自動表示切り替え
モニタプラグ&プレイ機能		VESA DDC2B 準拠
HDCP 機能		無し
アナログ画質調整機能		自動調整 明るさ 表示位置 PHASE Sync レベル調整
本体部引出しロック		本体左前に引き出しロック機構あり 引出し時 : 手動でロックを解除 押し込み時 : 奥まで押すと自動ロック 本体右前はロック機構なしにより、収納時（左前ロック時）に右前部が本体 取り付け面より出る場合がある
LCD 開閉ロック		LCD 開閉用ハンドル左に LCD 開閉ロック機構あり
スライドレールロック		本装置操作時に固定されるよう左右のスライドレールにロック機構がある 引き出し時 : 最大に伸張すると自動ロック 押し込み時 : 左右の固定バネを手動で解除する
スライドレール	引出し力	行程を平均 1.5 秒で操作した場合 平均 9.8~19.6N(1~2kgf),最大 24.5N (2.5kgf)
	押し込み力	行程を平均 1.5 秒で操作した場合 平均 9.8~19.6N(1~2kgf),最大 24.5N (2.5kgf)
	引出し/押し込み保証回数	2,000 回
省電力スイッチ		電力スイッチ内蔵（LCD 部を閉じた際、LCD 電源 OFF）
カスケード接続可能機種		スレーブ側 FS-11XX シリーズ : シングルユーザー-KVM スイッチ FS-V10XX シリーズ : シングルユーザー-KVM スイッチ DVI モデル
組み合わせ接続可能機種		FE-1300CW / FE-2200CW / FE-1600CWU / FE-3000CXU
電源/消費電流		AC100V 50/60Hz 0.66A
最大漏洩電流（電源仕様）		0.45mA(max)
動作周囲温度/湿度		5~35℃/10~80%RH（結露無き事）
保存温度		-10~50℃/8~80%RH（結露無き事）
最大湿球温度		動作時 29℃以下 非動作時 29℃以下 輸送時及び保管時 46℃以下
外形寸法		本体部（幅、奥行、高さ）注：突起部を含まない (1) スライドレール縮小時 487mm×664mm×42mm (2) スライドレール伸長時 487mm×1164mm×42mm (3) (2)かつ LCD 引き起こし時（LCD の取手含む） 487mm×1189mm×322mm
質量		約 11.0kg

## 13.1 対応解像度

### DVI-D デジタルポートサポート解像度

解像度	H. Freq [KHz]	V. sync [Hz]	Pixel Clock [MHz]	対応モード※1	備考
640×480	31.469	59.940	25.175	○	VGA 60
800×600	35.156	56.250	36.000	○	SVGA 56
	37.879	60.317	40.000	○	SVGA 60
1024×768	48.363	60.004	65.000	○	XGA 60
1280×1024	63.981	60.020	108.000	○	SXGA 60
1440×900	55.468	59.901	88.750	○	WXGA+ 60RB
	55.934	59.887	106.500	○	WXGA+ 60
1680×1050	64.674	59.883	119.000	○	WSXGA+ 60
1920×1080	67.500	60.000	148.500	◎	1080P (FULL HD)推奨
1920×1200	74.038	59.950	154.000	○	WUXGA 60RB

### DVI-I アナログポートサポート解像度

解像度	H. Freq [KHz]	V. sync [Hz]	Pixel Clock [MHz]	対応モード※1	備考
640×480	31.469	59.940	25.175	○	VGA 60
800×600	35.156	56.250	36.000	○	SVGA 56
	37.879	60.317	40.000	○	SVGA 60
1024×768	48.363	60.004	65.000	○	XGA 60
1280×1024	63.981	60.020	108.000	○	SXGA 60
1440×900	55.934	59.887	106.500	○	WXGA+ 60
1920×1080	67.500	60.000	148.500	◎	1080P (FULL HD)推奨
1920×1200	74.038	59.950	154.000	○	WUXGA 60RB

※1 ◎：推奨解像度      ○：表示可能

●ガイドレール(別売)

形格	ラック取り付け穴	備 考
FP-G001	M6 タップあり	M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002	長穴タップなし	M5、M6 ネジ添付 前後からの取り付け
FP-G002/W	長穴タップなし	FP-G002 + スペース + 皿ネジ(M5)×4 個 + M5 ネジ 6 本添付
FP-G003	長穴タップなし	M5、M6 ネジ付 サイドからの取り付け

●ケーブル(別売)

名称	形格	備考
サーバ/PC 接続 専用ケーブル (DVI+USB 用)	FP-CV018	DVI-D+USB---DVI-D+USB :1.8m
	FP-CV030	DVI-D+USB---DVI-D+USB :3.0m
	FP-CV050	DVI-D+USB---DVI-D+USB :5.0m
サーバ/PC 接続 専用ケーブル (アナログ/DVI+USB 用)	FP-CV018/C	DVI-I+USB---DSUB+USB :1.8m
	FP-CV030/C	DVI-I+USB---DSUB+USB :3.0m
	FP-CV050/C	DVI-I+USB---DSUB+USB :5.0m

## 14. トラブル対策

### 14.1 画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法
LCD電源スイッチを押してもLCD電源LEDが消灯している。	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。
LCD電源LEDがオレンジ色に点灯している。またはMENU/ENTERボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される。	サーバがスタンバイ状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。スタンバイ状態が解除されます。
	モニターケーブルがサーバ本体に、正しく接続されていない。	サーバ本体にモニターケーブルを正しく接続してください。
	サーバとDVI+USB用ケーブルで接続されているが、VIDEO INPUTの設定がDVI-Aになっている。	VIDEO INPUT設定をDVI-Dに切替えてください。 (「10.2. ビデオ設定(VIDEO SETTING MODE)」を参照ください。)
	サーバとアナログ/DVI+USB用ケーブルで接続されているが、VIDEO INPUTの設定がDVI-Dになっている。	VIDEO INPUT設定をDVI-Aに切替えてください。 (「10.2. ビデオ設定(VIDEO SETTING MODE)」を参照ください。)
LCD電源LEDが点灯するが、画面が表示されない。場合によっては以下のメッセージも表示される。 「OUT OF RANGE DVI H:***kHz V: H:***Hz SEE USER'S MANUAL」 「NO SYNC SIGNAL SEE USER'S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートに変更してください。
	サーバ本体より後に本製品の電源を入れた。	サーバ本体と同時またはそれ以前に本製品の電源を入れてください。
	サーバ/PC接続専用ケーブルが、サーバ本体に正しく接続されていない。	サーバ本体にサーバ/PC接続専用ケーブルを正しく接続してください。

### 14.2 画面調節ができない

症状	考えられる原因	対処方法
「UNSUPPORTED MODE SEE USER'S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	メニュー画面のインフォメーション（「9.7. 情報表示」を参照ください。）により、現在表示されている解像度とリフレッシュレートを確認し、サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。

### 14.3 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法
画面が消えることがある。	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。
文字の太さが場所によって異なる。	1920×1080より低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするにはサーバ本体の解像度設定を1920×1080に設定してください。
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表示されない。	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。

### アナログ/DVI接続（DVI-A）の場合

症状	考えられる原因	対処方法
画面が消えることがある。	水平同期信号の入力レベルが合っていない。	HSYNC TH.値を調整します。 （詳細は「10.2 ビデオ設定 (VIDEO SETTING MODE)」を参照ください。）
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	AUTO PHASE ADJUSTによりPHASE値を自動調整するか、PHASE値をユーザー調整します。 （詳細は「10.2 ビデオ設定 (VIDEO SETTING MODE)」を参照ください。）
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面の調節が適切でない。	
文字の太さが場所によって異なる。	フォーカス、クロックの調節が適切でない。	AUTO SIZEによりPOSITION値を自動調整するか、POSITION値をユーザー調整します。 （詳細は「10.2 ビデオ設定 (VIDEO SETTING MODE)」を参照ください。）
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表示されない。	画面位置の調節が適切でない。	

### 14.4 外付けマウス、タッチパッド、キーボードが動かない

症状	考えられる原因	対処方法
キーボードが動かない	キーボード、マウス、タッチパッドが認識されていない。	サーバ/PC接続専用ケーブルのUSB側を正しく接続してください。 または、本装置の背面より出ているUSBケーブルを正しく接続してください。 （詳細は「7.1 ケーブルの接続」を参照ください。）
外付けマウスが動かない（カーソル、スイッチ）		
タッチパッドが動かない		

## 製品に関するお問い合わせ

万一誤動作、あるいは異常動作など不都合、不明な点がございましたら、お手数ですが弊社の下記担当までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### FCL コンポーネント株式会社

ホームページ：<https://www.fcl-components.com/contact/>

<修理・不具合に関するお問い合わせ>

### FCL コンポーネント お客様サービス&サポートセンター



0120-810-225

※携帯電話からもご利用になれます。

営業時間：9:00～12:00、13:00～17:00（土曜、日曜、祝祭日、弊社休業日を除く）

---

FCL Components SERVIS KVM Solution  
フル HD1U ドロワー（KVM スイッチ DVI モデル内蔵）  
[FD-6008DVI/J]  
[FD-6008DVI/JW]

2024 年 2 月 第 5 版発行

FCL コンポーネント株式会社  
〒140-8586 東京都品川区東品川 4-12-4 品川シーサイドパークタワー

---

- 本書の記載内容は予告無しに変更する事があります。
- 本書に記載された情報、図面の仕様に起因する第三者の知的財産権、その他権利侵害については、当社はその責を負いません。
- 本書に記載された製品を使用した貴社製品が、「外国為替及び外国貿易法」ならびに「米国輸出管理規制(EAR)」などの法令に基づき規制されている貨物又は技術に該当する場合に、該当製品を輸出するに際しては同法に基づく許可が必要になります。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁のあるものはお取り替え致します。



NC14010-L549AA-05